■製品についてのサポートのご案内

ホームページで調べる

ハンディカムの最新サポート情報
（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など）
http://www.sony.co.jp/cam/support/

ハンディカムホームページ
http://www.sony.co.jp/cam
ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

付属ソフトウェア（Picture Package）のサポート情報
http://www.ppackage.com/

電話で問い合わせる（おかけ間違いにご注意ください）

テクニカルインフォメーションセンター
【電話番号】0564-62-4979
＜電話受付時間＞
月～金曜日　午前9時～午後5時（ただし、年末、年始、祝日を除く）
お電話の際は、本機をお手元にご用意ください。

Picture Packageに関するお問い合わせ窓口
ピクセラユーザーサポートセンター
【電話番号】06-6633-3900
＜電話受付時間＞
月～日曜日　午前9時～午後5時（ただし、年末、年始、祝日を除く）

修理のお申し込み

指定宅配便での修理品のお引取りから修理後の製品のお届けまでを一括して行います。
テクニカルインフォメーションセンターへお電話いただくか、WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-repair/

■カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-regi/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35　http://www.sony.co.jp/

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

2548724010

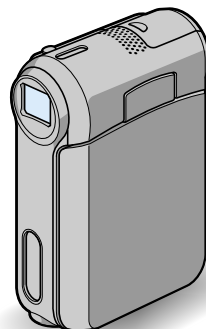
2-548-724-**01** (1)

SONY®

デジタルビデオカメラレコーダー

HANDYCAM

取扱説明書

DCR-PC55

InfoLITHIUM A SERIES

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

使用前に必ずお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

本機には2種類の取扱説明書があります。

- 取扱説明書（本書）
- 付属のアプリケーションを使用するための「ファーストステップガイド」（付属のCD-ROM内）

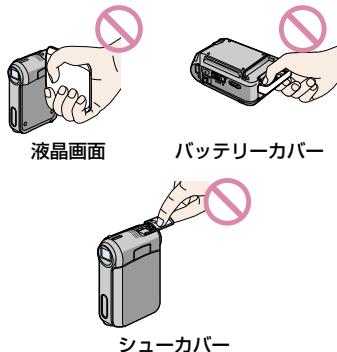
本機では下記の種類のカセット、“メモリースティック”が使えます。

- Mini DV マーク付きミニDVカセット（カセットメモリーは非対応）（詳しくは96ページ）
- MEMORY STICK DUO、MEMORY STICK PRO DUO マーク付きの“メモリースティック　デュオ”（詳しくは97ページ）

故障や破損の原因となるため、特にご注意ください。

- 次の部分をつかんで持たないでください。

液晶画面　バッテリーカバー

シューカバー

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「取り扱い上のご注意とお手入れ」もご覧ください（101ページ）。
- USBケーブル、i.LINKケーブルなどで接続する場合、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと、端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。
- ACアダプターをハンディカムステーションから抜くときは、DCプラグとハンディカムステーションを持って取り外してください。
- 本機をハンディカムステーションに取り付けたり、取り外すときは、必ず本機の電源を切ってください。

メニュー項目、液晶画面およびレンズについてのご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影/再生条件では使えません（同時に選べません）。
- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- 液晶画面やレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

録画/録音に際してのご注意

- 事前にためし撮りをして、正常な録画/録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画/録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

本書について

画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

カール ツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイスレンズとしての品質を維持しています。

MTF=Modulation Transfer Functionの略。コントラストの再現性を表す指標です。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

目次

準備する

撮る／見る

メニューで設定を変更する

ダビングや編集をする

次のページへつづく ➡

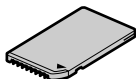
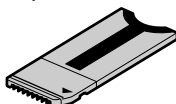
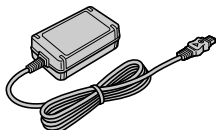
パソコンとつなぐ

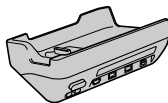
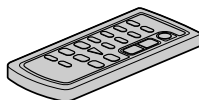
困ったときは

その他

準備1：付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
（　）内は個数。

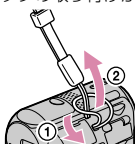
“メモリースティック　デュオ”16MB（1）（15、97ページ）

メモリースティック　デュオ　アダプター（1）（98ページ）

ACアダプター（1）（8ページ）

電源コード（1）（8ページ）

ハンディカムステーション（1）（8ページ）

ワイヤレスリモコン（1）（30ページ）

ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

AV接続ケーブル（1）（32、52ページ）

USBケーブル（1）（62ページ）

リストストラップ（1）

- リストストラップの取り付けかた

リストストラップの先を曲げると、穴に通しやすくなります。

リチャージャブルバッテリーパック NP-FA50（1）（8、99ページ）

CD-ROM「Picture Package Ver.1.5」（1）（65ページ）

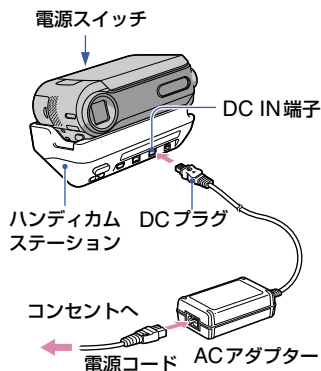
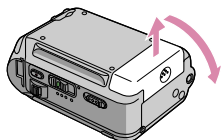
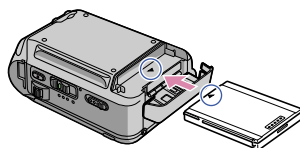
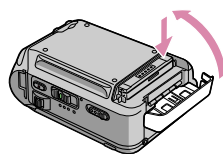
取扱説明書 ＜本書＞（1）

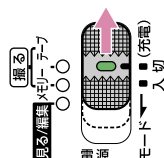
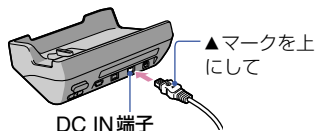
安全のために（1）

保証書（1）

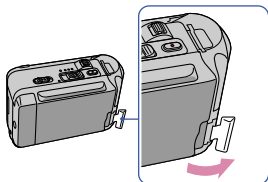
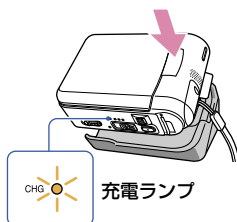
準備2：バッテリーを充電する

専用の"インフォリチウム"バッテリー（Aシリーズ）（99ページ）を本機に取り付けて充電します。

- 本機は"インフォリチウム"バッテリー**（NP-FA50）**のみ使えます。

1 バッテリーカバーを矢印の方向にずらして開ける。

2 バッテリー側面の▲と本体の▲の頂点を合わせるようにバッテリーを入れ、「カチッ」というまで押し込む。

3 バッテリーカバーを閉める。

カバーを確実に閉めてください。

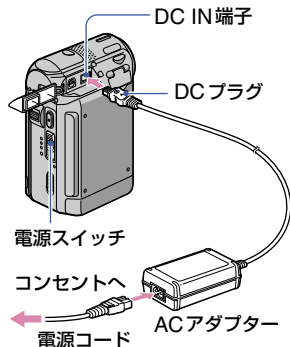
4 電源スイッチをずらして、「切（充電）」（お買い上げ時の設定）にする。

5 ACアダプターのDCプラグをハンディカムステーションのDC IN端子につなぐ。

6 電源コードでACアダプターとコンセントをつなぐ。

7 本機をハンディカムステーションに取り付ける。

① インターフェースコネクタカバーを開ける。

② 正しい位置に本機を置いてから、矢印の部分を押して奥まで確実に取り付ける。

充電ランプが点灯し、充電が始まります。充電が終わると充電ランプが消えます（満充電）。

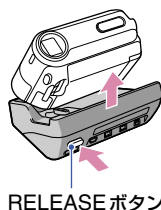
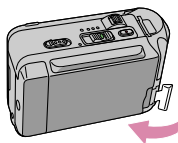
ACアダプターのみで充電するには

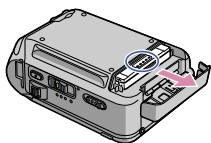
電源スイッチを「切（充電）」にした状態で、本機のDC IN端子につないで充電する。

- このように接続して、コンセントからの電源で本機を使うこともできます。バッテリーを取り付けたままでもバッテリーは消耗しません。

ハンディカムステーションから本機を取り外すには

① 本機の電源を切り、ハンディカムステーションのRELEASEボタンを押し、本機を取り外す。

② インターフェースコネクタカバーを閉める。

次のページへつづく ➡

バッテリーを取り外すには

電源スイッチを「切（充電）」にする。バッテリーカバーを開け、バッテリーの囲みの部分に指をかけて引き出して取り出す。

保管するときは

長い間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管する（99ページ）。

充電時間

使い切った状態からのおよその時間（分）。

バッテリー型名	満充電時間
NP-FA50（付属）	125

撮影可能時間

満充電からのおよその時間（分）。

バッテリー型名	連続撮影時 *	実撮影時 *
NP-FA50（付属）	95 110	55 65

* 上段：液晶画面バックライトが「入」のとき
  下段：液晶画面バックライトが「切」のとき

- 実撮影時とは、録画スタンバイ、電源スイッチの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。

再生可能時間

満充電からのおよその時間（分）。

バッテリー型名	液晶画面で再生 *
NP-FA50（付属）	105

* 液晶画面バックライトが「入」のとき

バッテリーについて

- バッテリーの交換は、電源スイッチを「切（充電）」にしてから行ってください。
- 次のとき、充電中の充電ランプが点滅したり、バッテリーインフォ（24ページ）が正しく表示されないことがあります。
  – バッテリーを正しく取り付けていないとき
  – バッテリーが故障しているとき
  – バッテリーが消耗しているとき（バッテリーインフォ表示のみ）
- 電源コードをコンセントから抜いても、ACアダプターが本機やハンディカムステーションのDC IN端子につながれている限り、バッテリーからは電源供給されません。

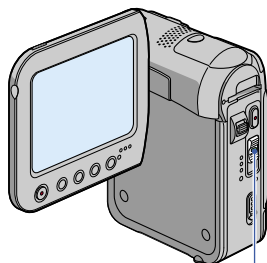
充電/撮影/再生時間について

- 25℃（10℃〜30℃が推奨）で使用したときの時間です。
- 低温の場所で使うと、撮影/再生時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影/再生可能時間が短くなります。

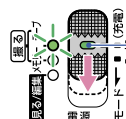
ACアダプターについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

準備3：電源を入れて正しく持つ

撮影や再生時は、電源スイッチを操作して、ランプを点灯させます。
初めて電源を入れると自動的に[日時あわせ]画面になります（14ページ）。

電源スイッチ

1 電源スイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、ランプを点灯させる。

「撮る－テープ」または「撮る－メモリー」にしたときはレンズカバーが開きます。

「切（充電）」から電源を入れるときは、押しながら下にずらす。

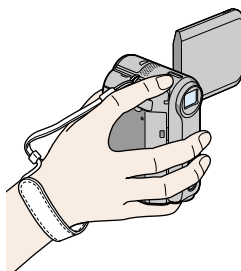
点灯させるランプ

「撮る－テープ」：テープに撮影時

「撮る－メモリー」：“メモリースティック デュオ”に撮影時

「見る/編集」：再生や編集時

- 電源を切った状態から、「撮る－テープ」、または「撮る－メモリー」ランプを点灯させると、液晶画面に現在の日時が約5秒間表示されます。

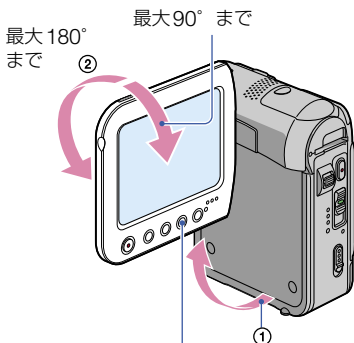
2 本機を正しく構える。

電源を切るには

電源スイッチを緑のボタンを押しながら上にずらして、「切（充電）」にする。

- お買い上げ時は、電源を入れて何もしない状態が約5分続くと、バッテリー消耗防止のため、自動的に電源が切れます（[自動電源オフ]、49ページ）。

準備4：液晶画面を調節する

液晶画面を見やすく調節する

液晶画面を90°いっぱいに開いてから（①）、見やすい角度に調節する（②）。

- 液晶画面を開閉するときや、角度を調節するときに、液晶画面下にあるボタンを誤って押さないよう、ご注意ください。
- 液晶画面をレンズ側に180°回転させると、外側に向けて本体に収められます。再生時に便利です。

液晶画面バックライトを暗くするには

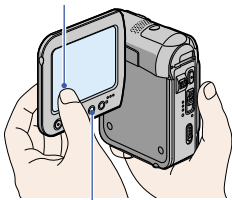
画面表示/バッテリーインフォボタンをが表示されるまで数秒間押したままにする。明るい場所で使うときや、バッテリーを長持ちさせたいときに便利です。録画される画像に影響ありません。
解除するにはもう1度が消えるまで押したままにする。

- 液晶画面の明るさは、[パネル明るさ]（47ページ）で調節できます。

準備5：タッチパネルを操作する

撮影した画像を再生するとき（21ページ）や、メニューで設定を変更するとき（33ページ）は、液晶画面をタッチして操作します。

液晶画面の背面を手で支えながら画面上のボタンを指で軽くタッチする（触れる）。

画面のボタンをタッチ

画面表示/バッテリーインフォボタン

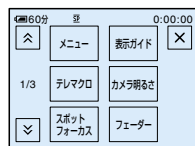
- 液晶画面下にあるボタンを押すときも同様に操作します。
- 液晶画面をタッチして操作するときに、液晶画面下にあるボタンを誤って押さないようにご注意ください。

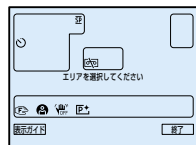
画面表示を消したいときは

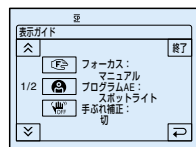
画面表示/バッテリーインフォボタンを押すたびに、タイムコードなどの情報が、［表示］↔［非表示］と切り替わる。

画面表示を確認する（表示ガイド）

画面に出ている表示の意味を簡単に確認できます。

1 P.メニューをタッチする。

シンプル操作中は［メニュー］をタッチしてください（18ページ）。

2 ［表示ガイド］をタッチする。

表示は設定されている項目によって異なります。

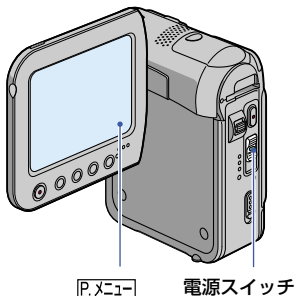
3 確認したい表示が入っているエリアをタッチする。

エリアにある表示の意味が一覧で表示されます。確認したい表示が見つからないときは、［⌃］/［⌄］をタッチして表示させてください。
［↩］をタッチするとエリア選択画面に戻ります。

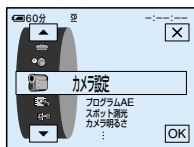
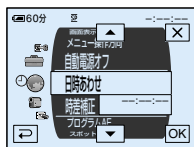
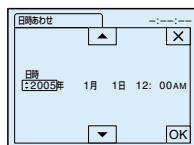
終了するには

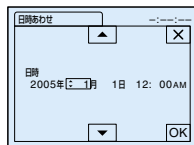
［終了］をタッチする。

準備6：時計を合わせる

初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れたり、電源スイッチを切り換えるたびに[日時あわせ]画面が表示されます。

- 2か月近く使わないでおくと内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。充電式電池を充電してから設定し直してください（103ページ）。

初めて時計を合わせるときは、手順4から操作してください。

1 P.メニュー→[メニュー]をタッチする。

2 ▲/▼で時間設定メニューを選び、OKをタッチする。

3 ▲/▼で[日時あわせ]を選び、OKをタッチする。

4 ▲/▼で[年]を合わせ、OKをタッチする。

2079年まで設定できます。

5 同様に、[月]、[日]、時、分を合わせ、OKをタッチする。

真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。
時計が動き始めます。

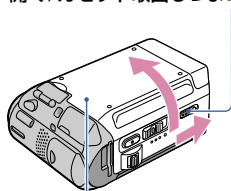
準備7：カセットや“メモリースティック　デュオ”を入れる

カセットを入れる

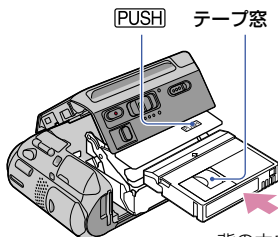
Mini DV マーク付きミニDVカセットのみ使えます（96ページ）。

* [録画モード]によって、録画可能時間は異なります（46ページ）。

1 ⌐開く/カセット取出しつまみを矢印の方向にずらしたまま、カセットカバーを開ける。

⌐開く/カセット取出しつまみ

カセットカバー

カセット入れが自動的に出て開きます。

2 テープ窓を上にして、カセットを入れ、PUSHマークを押す。

カセット入れが自動的に収納されます。無理に押し込むと、故障の原因になります。

3 カセットカバーを手で閉める。

カセットを取り出すには

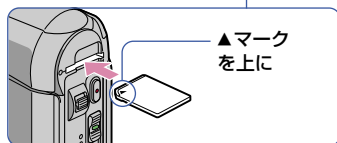
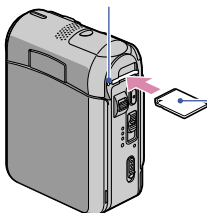
入れるときと同じ操作です。

“メモリースティック　デュオ”を入れる

マーク付き“メモリースティック　デュオ”のみ使えます（97ページ）。

* [画質]や[画像サイズ]によって撮影可能枚数、時間は異なります。撮影枚数/時間については41ページをご覧ください。

正しい向きに、「カチッ」というまで押し込む。

アクセスランプ

* 誤った向きで無理に入れると、“メモリースティック　デュオ”や“メモリースティック　デュオ”スロット、画像データが破損することがあります。

準備する

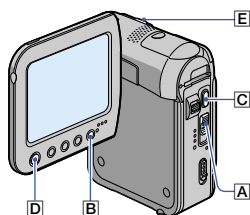
次のページへつづく ➡

"メモリースティック　デュオ"を取り出すには

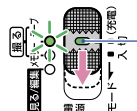
"メモリースティック　デュオ"を軽く1回押して取り出す。

- アクセスランプの点灯中や点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、"メモリースティック　デュオ"やバッテリーを取り外したりしないでください。画像データが壊れることがあります。

自動設定でかんたんに撮る/見る（シンプル操作）

シンプル操作では、ほとんどの設定を自動化するので、自分で細かい操作をする必要がありません。
主な機能だけを使えるようになり、液晶画面上の文字も大きく表示されて見やすくなるので、初めてお使いになるときでもより簡単に操作することができます。
あらかじめ準備1～7（7～15ページ）をおこなっておいてください。

かんたんに撮る

1 電源スイッチ A を矢印の方向に繰り返しずらしてランプを点灯させる。

動画を撮るとき ：「撮る－テープ」ランプを点灯
静止画を撮るとき ：「撮る－メモリー」ランプを点灯

「切（充電）」から電源を入れるときのみ、押しながら下にずらす。

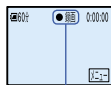
2 シンプルボタン B を押す。

シンプルランプが青く点灯する。

シンプル操作に設定しました

3 撮影を始める。

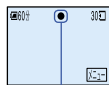
動画のとき

録画スタート/ストップボタン C（または D）を押す。

［スタンバイ］→［●録画］

撮影を止めるには、もう1度録画スタート/ストップボタン C（または D）を押す。

静止画のとき

フォトボタン E を押す。

軽く押してピント合わせ　点滅→点灯　深く押して撮影

「カシャ」と鳴り、▮▮▮▮が消えると記録される。

かんたんに見る

1 電源スイッチ[A]を矢印の方向に繰り返しずらして「見る/編集」ランプを点灯させる。

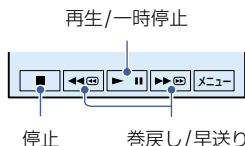
2 シンプルボタン[B]を押す。

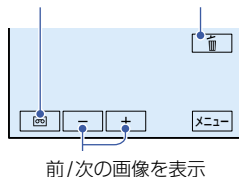
シンプル操作に設定しました

3 再生する。

動画のとき

[◀◀]をタッチして見たい位置まで巻き戻し、[▶ II]をタッチして再生する。

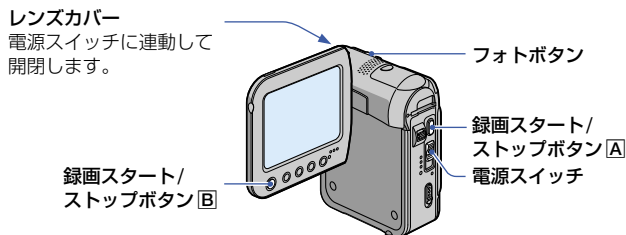
リモコンでスロー再生([スロー▶])できます。

静止画のとき

[メモリー]→[－]/[＋]の順にタッチする。

シンプル操作を解除するには

もう一度、シンプルボタン[B]を押す。
シンプルランプが消灯し、シンプル操作に切り換わる前の設定に戻ります。

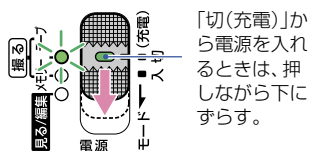
- テープの録画モード、"メモリースティック デュオ"の画質はお買い上げ時の設定に戻ります。

- シンプル操作中にできること
  - 一部のメニュー項目(35ページ)
    [メニュー]をタッチすると設定可能な項目が表示されます。表示されない項目はお買い上げ時の設定に戻ります。
  - ズーム(撮影中)(22ページ)
  - 画面表示の入/切(13ページ)
  - テレビで見る(32ページ)
  - 他のビデオやDVD機器などにダビングする(53ページ)
- シンプル操作中にできない操作をすると、[シンプル操作中は無効です]と表示されます。

撮る

1 **電源スイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、ランプを点灯させ、記録するメディアを選ぶ。**

テープのとき：「撮る－テープ」ランプを点灯

"メモリースティック　デュオ"のとき：
「撮る－メモリー」ランプを点灯

「切(充電)」から電源を入れるときは、押しながら下にずらす。

2 **撮影を始める。**

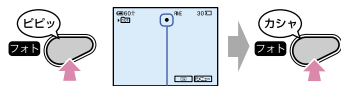
動画のとき

録画スタート/ストップボタンⒶ(またはⒷ)を押す。

［スタンバイ］(テープのみ)→［●録画］

"メモリースティック　デュオ"に記録した動画(MPEG ムービー EX)の音声はモノラルになります。

静止画のとき

フォトボタンを軽く押してピントを合わせ、深く押す。

軽く押して ピント合わせ　点滅→点灯　深く押して 撮影

「カシャ」と鳴り、▮▮▮▮が消えると記録される。

動画撮影を止める

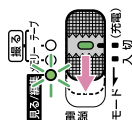
録画スタート/ストップボタンをもう1度押す。

- テープに動画を撮影中や、スタンバイ中にフォトボタンを深く押すと、"メモリースティック　デュオ"に静止画を撮影できます。

"メモリースティック　デュオ"に記録した画像をすぐに確認する

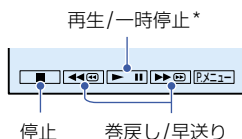
［確認］をタッチする。画像を削除するには、［削除］→［はい］をタッチする。［戻る］をタッチすると、スタンバイに戻る。

見る

1 **電源スイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、「見る/編集」ランプを点灯させる。**

2 **再生を始める。**

動画のとき

テープのときは：

⏪をタッチして見たい位置まで巻戻し、▶⏸をタッチして再生する。

＊ タッチするたびに切り換わります。一時停止が3分以上続くと、自動的に停止します。

"メモリースティック　デュオ"のときは：

メモリー→−/＋の順にタッチし、🎞(動画)のファイルでMPEG▶⏸をタッチする。

静止画のとき

メモリーをタッチする。

最後に撮影した画像が表示される。

- 不要な画像は削除できます（58ページ）。

動画の音量を調節する

P.メニュー→[音量]の順にタッチし、−/＋をタッチし調節する。

- P.メニューで見つからないときは、[メニュー]から選びます。

動画を見ながら場面を探す

再生中に⏩/⏪をタッチしたままにする（ピクチャーサーチ）。

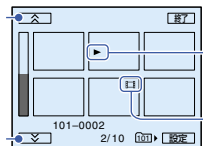
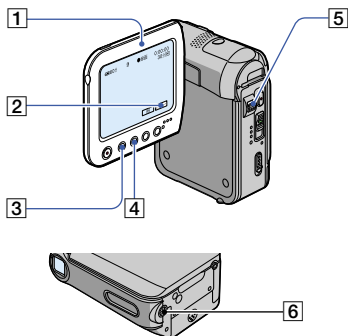
早送り中に見るときは⏩を、巻戻し中は⏪をタッチしたままにする（高速アクセス）。

- テープは[変速再生]できます（45ページ）。

"メモリースティック　デュオ"の画像を一覧表示する（インデックス表示）

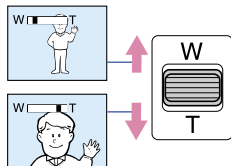
▦をタッチする。いずれかの画像をタッチすると1枚表示になる。

別フォルダの画像を見るときは、▦→設定→[再生フォルダ選択]をタッチし、▲/▼で選びOKをタッチする（42ページ）。

インデックス表示時の画面

撮る/見るときに使う機能など

撮るとき

ズームする 5

ズームレバー 5 を軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームする。

広角：Wide（ワイド）

望遠：Telephoto（テレフォト）

- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。
- 倍率が10倍を超えたときに、[デジタルズーム]（40ページ）できます。

逆光を補正する 4

逆光補正ボタン 4 を押すと が表示されて、補正される。解除するには、もう1度押す。

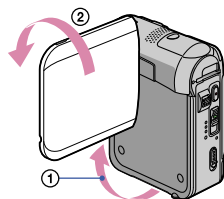
画面中央にない被写体にピントを合わせる（スポットフォーカス）............ 2

[スポットフォーカス]をご覧ください（38ページ）。

被写体を基準に明るさ調節する（フレキシブルスポット測光）.......... 2

[スポット測光]をご覧ください（37ページ）。

自分撮り（対面撮影）する 1

液晶画面 1 を90°いっぱいに開いてから（①）、レンズ側に270°回す（②）。

- 液晶画面には、左右反転で映りますが、実際には左右正しく録画されます。

三脚を使って撮る 6

三脚（別売り、ネジの長さが5.5mm以下）を三脚用ネジ穴 6 に取り付けます。

見るとき

動きのある効果を加えて画像の再生を楽しむ（スライドショープラス）....... 3

電源スイッチを「見る/編集」にした後、スライドショープラスボタン 3 を押す。[スライドショープラスを開始します]が表示され、“メモリースティック デュオ”内の画像が自動再生される。中止するには、もう1度押す。

- 液晶画面は外側に向けて本体に納めてください（12ページ）。
- 本機だけで、またはハンディカムステーションに取り付けても楽しむことができます（8ページ）。

スライドショープラス実行中に[設定]をタッチして、下記の項目を変更できます（*はお買い上げ時の設定）。
設定し終わったら[OK]→[終了]をタッチする。

■ 再生フォルダ選択

[全ファイル]（all）*は全ての画像を、[フォルダ内]（1）は[再生フォルダ選択]（42ページ）で選んだフォルダ内の画像を再生する。

■ 繰り返し設定

[入]（⇄）*にすると、スライドショープラスを繰り返す。

■ 時計表示

[入]*にすると、時計を表示する。

■ モード選択

シンプル*
上下左右の移動、ズームやオーバーラップの効果が加わる。

モノトーン
白黒に表示され、左右の移動やオーバーラップの効果が加わる。

ファンシー
花のイラストが現れる。ズームやワイプの効果が加わる。

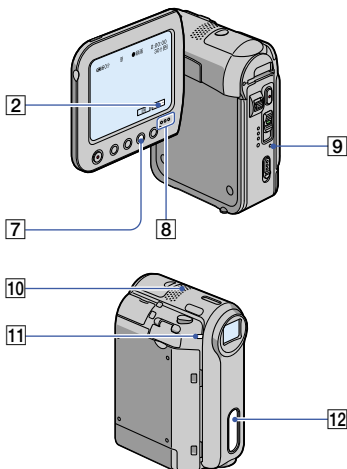
スタンダード
効果を加えない。画面表示/バッテリーインフォボタンを押すとファイル情報の表示は消えます。

- [日時あわせ]（14ページ）を設定していないと時計は表示されません。
- [設定]が表示されていないときは、液晶画面をタッチして表示させてください。
- 長時間使用するときには、付属のACアダプターを使ってコンセントから電源をとってください。
- 液晶画面保護のため、以下のことをおすすめします。
  – 複数ファイルで使用する。
  – [繰り返し設定]は[入]で使用する。
  – スライドショープラスを見ないときには、電源スイッチを「切（充電）」にする。
- スライドショープラスを開始する前に、[－]/[＋]で始める画像を選べます。

再生ズームする............................5

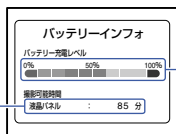
画像を1.1～5倍の範囲でズームできます。
倍率はズームレバー 5 で調整できます。

① 拡大したい画像を表示する
② T（望遠）で画像を拡大する。
③ 枠内の拡大したい部分をタッチする。
④ W（広角）/T（望遠）で画像の大きさを調節する。

終了するには、[終了]をタッチする。

撮る／見る

撮る/見る共通

バッテリーの残量を確認する(バッテリーインフォ)……7

電源スイッチを「切(充電)」にした後、画面表示/バッテリーインフォボタン7を押すと、バッテリーの情報が約7秒間、表示中に再び押すと最大約20秒間表示される。

およその撮影可能時間

およそのバッテリー残量

操作音を消す(おしらせブザー)……2

[おしらせブザー](49ページ)で設定できます。

画像に演出を加える……2

ピクチャーアプリメニューをご覧ください(43ページ)。

お買い上げ時の設定に戻す(リセット)……9

RESET(リセット)ボタン9を押すと、日時を含めすべての設定が解除されます。(パーソナルメニューに設定した内容は解除されません)

その他の部分の名前とはたらき

8 スピーカー

再生時の音声が聞けます。

- 音量調節については、21ページをご覧ください。

11 録画ランプ

録画時に赤く点灯します(49ページ)。

12 リモコン受光部

リモコン(30ページ)は、リモコン受光部に向けて操作します。

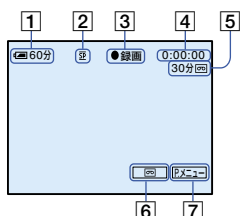
10 内蔵ステレオマイク

外部マイクをつないだときは、その音声が優先されます。

撮る/見るときの画面表示

（ ）内は参照ページ。
撮影中の画面表示は録画されません。

動画を撮影中

テープのとき

1 バッテリー残量の目安

2 録画モード（SPまたはLP）（46）

3 撮影状態（[スタンバイ]/[●録画]）

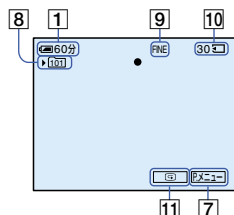
4 タイムコード（時：分：秒：フレーム）/テープカウンター（時：分：秒）

5 テープ表示とテープ残量の目安（48）

6 エンドサーチ/エディットサーチ/レックレビュー画面切り換えボタン（29）

7 パーソナルメニューボタン（33）

"メモリースティック　デュオ"のとき

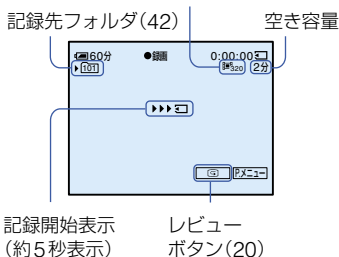
静止画を撮影中

8 記録先のフォルダ（42）

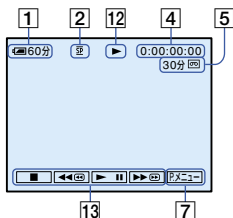
9 画質（[FINE]または[STD]）（41）

10 "メモリースティック　デュオ"表示と記録可能なおよその枚数

11 レビューボタン（20）

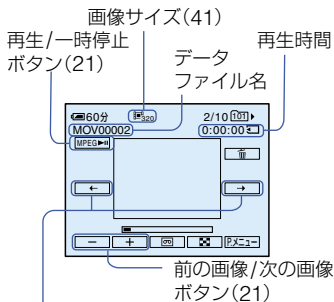
撮影時のデータについて

日付時刻データと撮影条件を示したカメラデータが自動的に記録されます。
これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時に[データコード]として確認できます（48ページ）。

動画を再生中

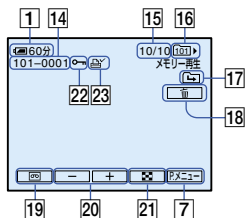
テープのとき

12 テープ走行表示

13 ビデオ操作ボタン(21)

本機に“メモリースティック　デュオ”が入っている場合、再生停止時に［■］(停止)が［メモリー］(“メモリースティック　デュオ”再生切換え)に変わる。

“メモリースティック　デュオ”のとき

前の場面/次の場面

1つの動画データは自動で最大60場面に分割されます。録画時間によって、分割数は異なります。頭出し後に［MPEG▶II］をタッチして再生できます。

静止画を再生中

14 データファイル名

15 再生中の画像番号/フォルダ内の合計枚数

16 再生フォルダ(42)

17 前後フォルダ表示

“メモリースティック　デュオ”内に複数のフォルダがあるとき、フォルダ内の最初/最後の画像になると表示される。

- ：［－］で前フォルダへ
- ：［＋］で次フォルダへ
- ：［－］/［＋］で前/次フォルダへ

18 画像消去ボタン(58)

19 テープ再生切り換えボタン(21)

20 前の画像/次の画像ボタン(21)

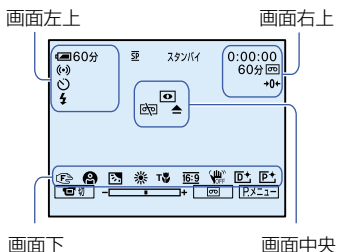
21 インデックス表示ボタン(21)

22 プロテクト(58)

23 プリントマーク(59)

次のページへつづく ➡

設定を変更したときの表示

[表示ガイド]で、各表示の説明を液晶画面でも確認できます([表示ガイド]、13ページ)。

画面左上

表示	意味
	サラウンド外部マイク設定(47)
♪16b	音声モード(46)
	セルフタイマー録画(40)
	インターバル静止画記録(45)
	別売りのビデオフラッシュ使用時に表示(39)

画面右上

表示	意味
A/V▸DV	A/V→DV出力(47)
DV IN	DV入力(54)
→0←	ゼロセットメモリー(30)
	スライドショープラス(22)
OFF	液晶バックライト 切(12)

画面中央

表示	意味
	Color Slow Shutter (40)
	PictBridge接続中(59)
	警告(91)

画面下

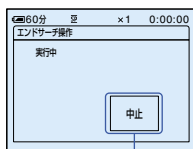
表示	意味
P	ピクチャーエフェクト(44)
D	デジタルエフェクト(43)
	手動フォーカス(39)
	プログラムAE(37)
	逆光補正(22)
	ホワイトバランス(38)
16:9	ワイド切換(40)
OFF	手ぶれ補正(40)
T	テレマクロ(39)

撮影を始めるテープ位置を頭出しする

電源スイッチを「撮る－テープ」にして操作してください。

最後に録画した場面を頭出しする（エンドサーチ）

カセットをいったん取り出すと、エンドサーチは働きません。

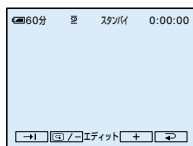
[テープ]→[→I]をタッチする。

中止するにはここにタッチ

最後に録画した場面の約5秒間が再生され、録画終了した場面でスタンバイになる。

- テープの途中に無記録部分があると、正しく働かない場合があります。
- メニューからも[エンドサーチ操作]できます。電源ランプの位置が「見る/編集」のときは、パーソナルメニュー（33ページ）にショートカットがあります。

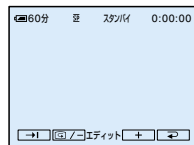
撮影を始める位置を探す（エディットサーチ）

画面を確認しながら、次に撮影開始する位置を探せます（音は出ません）。

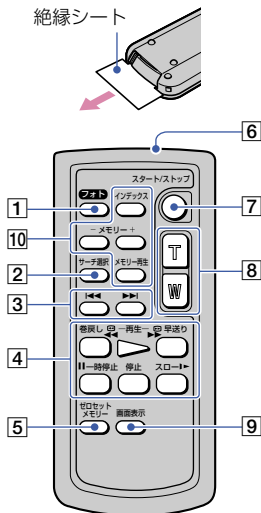
1 [テープ]をタッチする。

2 [/－]（場面を戻す）/[＋]（場面を進める）をタッチし続け、録画を開始したい位置にきたら離す。

テープを停止した場面を確認する（レックレビュー）

テープを停止させた場面を約2秒間再生し、確認できます。

[テープ]→[/－]をタッチする。

停止した部分が約2秒間再生され、スタンバイに戻る。

リモコンで使う

絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。

1 フォトボタン（20ページ）
押したときの画像が静止画として記録されます。

2 サーチ選択ボタン（31ページ）*

3 ⏮ ⏭ ボタン*

4 ビデオ操作ボタン（巻戻し、再生、早送り、一時停止、停止、スロー）（21ページ）

5 ゼロセットメモリーボタン*

6 リモコン発光部

7 録画スタート/ストップボタン（20ページ）

8 ズームボタン（22ページ）

9 画面表示ボタン（13ページ）

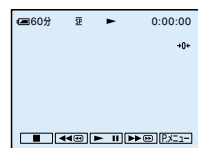
10 メモリー操作ボタン（インデックスボタン*、－/＋ボタン、メモリー再生ボタン）（21ページ）

* シンプル操作中は働きません。

- 本体前面のリモコン受光部に向けて操作してください（24ページ）。
- 電池交換については、103ページをご覧ください。

見たい場面にすばやく戻す（ゼロセットメモリー）

1 再生中に後で頭出ししたい場面で、ゼロセットメモリーボタン 5 を押す。

テープカウンターが「0:00:00」になり、→0←が点灯する。

テープカウンターが表示されないときは、画面表示ボタン 9 を押す。

2 見終わったら、停止ボタン 4 を押す。

3 ◀◀巻戻しボタン 4 を押す。

「0:00:00」付近になると、自動的に停止する。

4 再生ボタン 4 を押す。

「0:00:00」の場面からもう１度再生する。

- タイムコードとテープカウンターに多少誤差が生じることがあります。
- テープの途中に無記録部分があると、正しく働かないことがあります。

ゼロセットメモリーを解除するには
もう１度ゼロセットメモリーボタン5を押す。

撮影日でテープを頭出しする（日付サーチ）

撮影日の変わり目を頭出しできます。

1 電源スイッチを「見る/編集」にする。

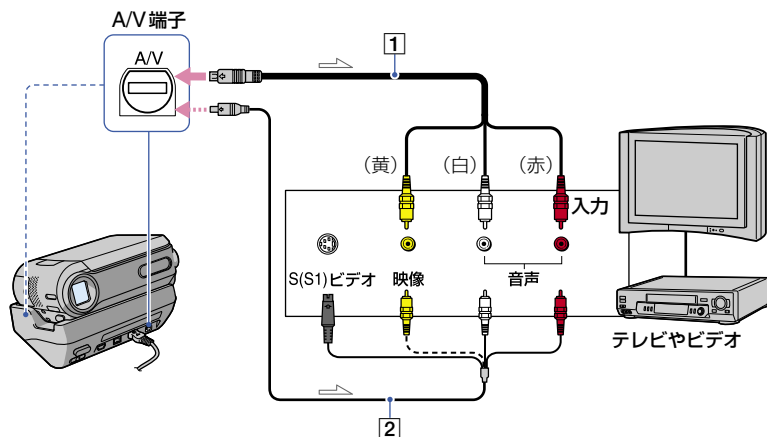
2 サーチ選択ボタン2を押す。

3 ⏮（前の日付）/⏭（後の日付）ボタン3を押して頭出しする。

日付サーチを中止するには
停止ボタン4を押す。

- テープの途中に無記録部分があると、正しく働かないことがあります。

テレビで見る

電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください(8ページ)。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

:信号の流れ

1 **AV接続ケーブル(付属)**
本機またはハンディカムステーションのA/V端子と他機の入力端子をつなぎます。

2 **S映像ケーブル付きのAV接続ケーブル(別売り)**
S(またはS1)映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のAV接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ(左右音声端子)とS映像プラグ(S映像端子)のみ接続し、黄色いプラグ(映像端子)は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

ビデオをテレビにつないでいるときは

ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオの入力を「外部入力(ライン)」に切り換える。

モノラルテレビ(音声端子がひとつ)のときは

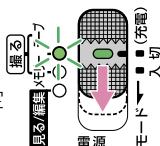
AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)か赤いプラグ(右音声)のどちらかを音声入力へつなぐ。

- 本機のA/V端子に接続するときは、ハンディカムステーションから本機を取り外してください。
- [画面表示出力]を[ビデオ出力/パネル]に設定すると、テレビ画面でタイムコードなどの情報を見ることができます(49ページ)。

メニューの使いかた

このページ以降のメニューは、下記の方法で操作してください。

1 電源スイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、ランプを点灯させる。

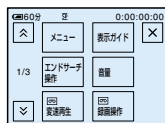
「撮る－テープ」ランプ：テープの設定
「撮る－メモリー」ランプ："メモリースティック　デュオ"の設定
「見る／編集」ランプ：見る／編集の設定

2 液晶画面をタッチして、項目を設定する。

灰色に表示されるメニューは、使用できません。

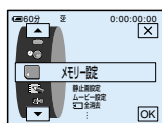
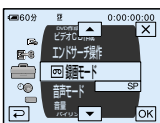
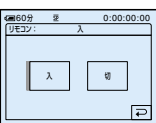
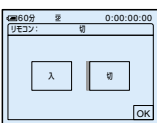
■ パーソナルメニューのショートカットを使うときは

パーソナルメニューには、よく使うメニューへのショートカットが、登録されています。

- パーソナルメニューはお好みの設定に変更できます（50ページ）。

① P.メニュー をタッチする。

② 希望の項目をタッチする。
画面にないときは、[^]/[v]をタッチして表示させる。
③ 希望の設定にし、OK をタッチする。

■ メニュー項目を使うときは

パーソナルメニューに登録されていないメニュー項目も設定できます。

① P.メニュー → [メニュー]の順にタッチする。
メニューインデックス画面が表示される。
② 設定するメニューを選ぶ。
[▲]/[▼]をタッチして選び、OK をタッチして決定する。（手順③も同様の操作です。）

メニューで設定を変更する

次のページへつづく ➡

③ 設定する項目を選ぶ。

- 設定する項目をタッチしても選べます。

④ 希望の設定にする。

設定し終わったら、OK→✕(閉じる)の順にタッチして、メニュー画面を消す。

設定を変更しないで戻るときは、↩をタッチする。

メニュー一覧

ランプの点灯位置によって、使用可能(●)メニューが異なります。
*シンプル操作(18ページ)でも使用できます。

ランプ点灯位置:	テープ	メモリー	見る/編集

カメラ設定メニュー(37ページ)

メニュー	テープ	メモリー	見る/編集
プログラムAE	●	●	×
スポット測光	●	●	×
カメラ明るさ	●	●	×
ホワイトバランス	●	●	×
オートシャッター	●	×	×
スポットフォーカス	●	●	×
フォーカス	●	●	×
テレマクロ	●	●	×
フラッシュ設定	●	●	×
COLOR SLOW S	●	×	×
セルフタイマー	●	●*	×
デジタルズーム	●	×	×
ワイド切換	●	×	×
手ぶれ補正	●	×	×

メモリー設定メニュー(41ページ)

メニュー	テープ	メモリー	見る/編集
静止画設定	×	●	●
ムービー設定	×	●	●
全消去*	×	×	●
フォーマット	×	●	●
ファイルナンバー	×	●	●
フォルダ作成	×	●	●
記録フォルダ選択	×	●	●
再生フォルダ選択	×	×	●

ピクチャーアプリメニュー(43ページ)

メニュー	テープ	メモリー	見る/編集
フェーダー	●	×	×
デジタルエフェクト	●	×	●
ピクチャーエフェクト	●	×	●
インターバル静止画記録	×	●	×
デモモード	●	×	×
プリント	×	×	●

ランプ点灯位置：	テープ	メモリー	見る/編集

編集/変速再生メニュー（45ページ）

	テープ	メモリー	見る/編集
変速再生	×	×	●
録画操作	×	×	●
アフレコ操作	×	×	●
ムービー録画操作	×	×	●
DVD作成	×	×	●
ビデオCD作成	×	×	●
エンドサーチ操作	●	×	●

基本設定メニュー（46ページ）

	テープ	メモリー	見る/編集
録画モード	●	×	●
音声モード	●	×	●
音量*	×	×	●
バイリンガル	×	×	●
音声ミックス	×	×	●
サラウンド外部マイク設定	●	×	×
パネル設定	●	●	●
A/V入力→DV出力	×	×	●
ビデオ入力	×	×	●
USB－撮る	●	×	×
USB－見る/編集	×	×	●
表示ガイド*	●	●	●
データコード*	×	×	●
残量表示	●	×	●
リモコン	●	●	●
録画ランプ	●	●	×
お知らせブザー*	●	●	●
画面表示出力	●	●	●
メニュー操作方向	●	●	●
自動電源オフ	●	●	●
キャリブレーション	×	×	●

時間設定メニュー（50ページ）

	テープ	メモリー	見る/編集
日時あわせ*	●	●	●
時差補正	●	●	●

カメラ設定メニュー

撮影状況に合わせるための設定(明るさ/ホワイトバランス/手ぶれ補正など)

▶は、お買い上げ時の設定。
(　)内の表示が画面に出ます。
操作方法は33ページをご覧ください。

プログラムAE

場面に合わせて、効果的な画像で撮影できます。

▶オート
プログラムAEを使わずに、自動的に効果的な画像になる。

スポットライト*()
スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐ。

ソフトポートレート()
背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立てる。

スポーツレッスン*()
動きの速い被写体のぶれを小さくする。

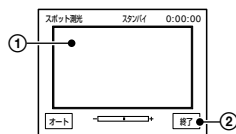
ビーチ&スキー*()
照り返しの強い砂浜やゲレンデで、人物が陰にならないようにする。

サンセット&ムーン()**
夕焼けや夜景、花火などを雰囲気たっぷりに表現する。

風景()**
遠景まではっきり撮影できる。ガラスや金網越しに撮るときも、向こうの被写体にピントが合うようになる。

* は近くのものにピントが合わないように設定されます。
** は遠景のみにピントが合うように設定されます。

スポット測光(フレキシブルスポット測光)

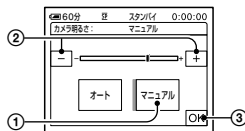
被写体が最適な明るさで映るように画面全体の明るさを調節し、固定できます。舞台上の人物の撮影など、被写体と背景のコントラストが強いときに使います。

① 画面枠内の明るさを調節したいポイントをタッチ。
　が表示されます。
② [終了]をタッチ。

自動調節に戻すには、[オート]→[終了]をタッチ。

- フレキシブルスポット測光中は、[カメラ明るさ]は自動的に[マニュアル]になります。

メニューで設定を変更する

カメラ明るさ

画像の明るさを手動で固定できます。例えば、日中の屋内撮影時に壁側で明るさを固定すれば、窓際の人物が逆光で暗く映るのを防げます。

① [マニュアル]をタッチ。

② [－]/[＋]で明るさ調節。

③ [OK]をタッチ。

が表示されます。

自動調節に戻すには、[オート]→[OK]をタッチ。

ホワイトバランス

撮影する場面に合わせて色合いを調節できます。

▶**オート**

自動調節されます。

屋外( )

屋外や昼光色蛍光灯の下にあった色合いになる。

屋内( )

電球色蛍光灯の下にあった色合いになる。

ワンプッシュ（ ）

光源に合わせてホワイトバランスを固定する。

① [ワンプッシュ]をタッチ。

② 被写体を照らす照明条件と同じところに白い紙などを置き、画面いっぱいに映す。

③ [ ]をタッチ。

が速い点滅に変わり、ホワイトバランスが調節される。終わると点灯に変わる。

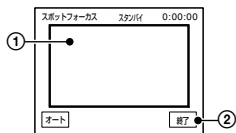
- の速い点滅中は、本機に強い衝撃を与えないでください。
- の遅い点滅は、設定できなかった場合を表します。
- [OK]をタッチ後もが点滅するときは、[オート]にしてください。

- [オート]でバッテリーを交換時や、[カメラ明るさ]設定時に屋内外を移動したときは、白っぽい被写体に向けて[オート]で約10秒間撮影すると、最適な色合いになります。
- [ワンプッシュ]設定中に、[プログラムAE]の効果を変えたり、屋外と屋内を行き来したりしたときは、再び[ワンプッシュ]の手順を行ってください。
- 白色や昼白色の蛍光灯下では、[オート]または[ワンプッシュ]にしてください。
- 電源を外して5分以上経つと、[オート]に戻ります。

オートシャッター

[入]（お買い上げ時の設定）のとき、明るい場所では電気的にシャッタースピードを調節して撮影します。

スポットフォーカス

画面中央から外れた被写体を基準にして、ピントを合わせられます。

① 画面枠内の被写体にタッチ。

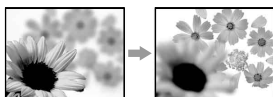
が表示される。

② [終了]をタッチ。

自動ピント合わせに戻すには、[オート]→[終了]をタッチ。

- スポットフォーカス中は、[フォーカス]が自動的に[マニュアル]になります。

フォーカス

手動でピントを合わせられます。ピントを合わせる被写体を意図的に変えるときにも使えます。

① [マニュアル]をタッチ。
　が表示される。
② （近くにピント合わせ）/（遠くにピント合わせ）をタッチしてピント調節。それ以上近くにピントを合わせられないときは が、それ以上遠くにピントを合わせられないときは が表示される。
③ OKをタッチ。

自動ピント合わせに戻すには、手順①で[オート]→OKをタッチ。

- ピントは、始めにズームをT側（望遠）でピントを合わせてから、W側（広角）に戻してゆくと合わせやすくなります。接写時は、逆にズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。

テレマクロ

離れた場所からマクロ撮影をするので影映りを抑えることができ、被写体をより際立たせることができます。花や昆虫など小さいものを撮るとき便利です。
[入]（T）にするとズーム（22ページ）が自動で望遠（T側）になり、約27cmまで近づいて撮影できます。

解除するには、[切]をタッチ。またはズームを広角（W側）にする。

- 被写体が遠いときは、ピントが合いにくく、ピントが合うまでに時間が掛かる場合があります。
- ピントが合いにくいときは、手動でピント合わせしてください（[フォーカス]、39ページ）。

フラッシュ設定

本機に対応している外付けフラッシュ（別売り）をお使いのとき設定できます。

■ フラッシュモード

▶入
常に発光する。

入⊙
赤目軽減で発光する。

オート
自動発光する。

オート⊙
赤目軽減で自動発光する。

- 赤目軽減機能未対応のフラッシュのときは、[入]と[オート]のみ設定できます。

■ フラッシュレベル

明るい（+）
発光量が増える。

▶ノーマル（）

暗い（−）
発光量が減る。

- 電源を外して5分以上経つと、[ノーマル]に自動的に戻ります。

COLOR SLOW S（Color Slow Shutter）

［入］に設定すると、薄暗い場所でも明るくカラーで撮影できます。
と［COLOR SLOW SHUTTER］が表示されます。

解除するには、［切］をタッチ。

- ピントが合いにくいときは、手動でピント合わせしてください（［フォーカス］、39ページ）。
- シャッタースピードが明るさによって変わり、画像の動きが遅くなることがあります。

セルフタイマー

約10秒後に撮影を開始できます。

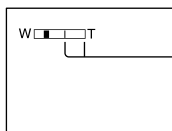
① P.メニュー→［セルフタイマー］→［入］→ OK の順にタッチ。
　が表示される。

② 動画のときは、録画スタート/ストップボタン、静止画の時はフォトボタンを押す。
　秒読みを停止するには［リセット］をタッチ。

解除するには、手順①で［切］をタッチ。

- リモコンでも使えます（30ページ）。

デジタルズーム

テープ撮影時に、10倍光学ズーム（お買い上げ時の設定）を超えてデジタルズームになったときの最大倍率を設定します。デジタル処理のため画質は劣化します。

▶切
10倍光学ズームのみ

20×
10倍光学ズーム＋最大20倍までのデジタルズーム

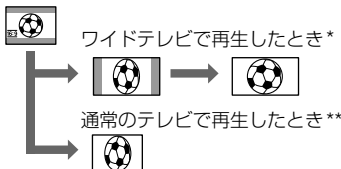
120×
10倍光学ズーム＋最大120倍までのデジタルズーム

ワイド切換

つなぐテレビの画像の比率に合った画像サイズで撮影できます。

▶4:3
通常の画面設定（4：3）で撮影する。

16:9ワイド（16:9）
ワイドテレビ画面（16:9）いっぱいに映るように撮影する。

［16：9ワイド］設定時に液晶画面で見たとき

* ワイドテレビのフルモードで再生すると、画面いっぱいに映ります。

**4:3モードで再生すると、画像が縦長に映ります。ワイドモードで再生すると、液晶画面で見たときと同じように映ります。

- ID-1/ID-2対応テレビやテレビのS（S1）映像入力端子につないで再生すると、テレビが自動的に16：9の画面サイズに切り換わります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

手ぶれ補正

お買い上げ時の設定は［入］のため、手ぶれを補正できます。三脚（別売り）を利用するときは、［切］（）にします。

メモリー設定メニュー

“メモリースティック　デュオ”に関する設定(画質/画像サイズ/全消去/フォルダ作成など)

▶は、お買い上げ時の設定。
(　)内の表示が画面に出ます。
操作方法は33ページをご覧ください。

静止画設定

■ 画質

▶ファイン(FINE)
高画質で記録する。

スタンダード(STD)
標準の画質で記録する。

“メモリースティック　デュオ”の容量(MB)と撮影可能枚数(枚)

	640×480 *
8MB	50 120
16MB(付属)	96 240
32MB	190 485
64MB	390 980
128MB	780 1970
256MB	1400 3550
512MB	2850 7200

* 上段は画質が[ファイン]のとき、
下段は画質が[スタンダード]のとき。

- ソニー製“メモリースティック　デュオ”使用時。枚数は、撮影環境によって変わります。
- 画像1枚の容量は、[ファイン]で約150kB、[スタンダード]で約60kBです。

ムービー設定

■ 画像サイズ

▶320×240 (320)
鮮明な画像を撮影する。

160×112 (160)
長時間撮影する。

“メモリースティック　デュオ”の容量(MB)と撮影可能時間(時:分:秒)

	320×240 320	160×112 160
8MB	00:01:20	00:05:20
16MB(付属)	00:02:40	00:10:40
32MB	00:05:20	00:21:20
64MB	00:10:40	00:42:40
128MB	00:21:20	01:25:20
256MB	00:42:40	02:50:40
512MB	01:25:20	05:41:20

- ソニー製“メモリースティック　デュオ”使用時。撮影時間は、撮影環境によって変わります。

全消去

プロテクトのかかっていない“メモリースティック　デュオ”内または選択フォルダ内の全画像を消します。

① [全ファイル]か[フォルダ内]を選ぶ。
[全ファイル]:“メモリースティック　デュオ”内のすべての画像を消去。
[フォルダ内]:選択しているフォルダ内のすべての画像を消去。

② [はい]を2回→ ✕ をタッチ。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック　デュオ”は、誤消去防止を解除する(97ページ)。
- 全消去しても、フォルダは消去されません。

次のページへつづく ➡

- [全消去中です]が表示されているとき、次の操作はしないでください。
  – 電源スイッチ/ボタン操作
  – "メモリースティック　デュオ"の取り出し

フォーマット

"メモリースティック　デュオ"（付属および別売り）はお買い上げ時フォーマット済みのため、フォーマットする必要はありません。

[はい]を2回→ [X] をタッチ。
フォーマットされて、全ての画像が消去されます。

- [フォーマット中です]が表示されているとき、次の操作はしないでください。
  – 電源スイッチ/ボタン操作
  – "メモリースティック　デュオ"の取り出し
- 新しく作成したフォルダやプロテクトのかかっている画像もすべて消去されます。

ファイルナンバー

▶**連番**
"メモリースティック　デュオ"を取り換えても、ファイル番号を連続して付ける。フォルダを新しく作成、または記録先フォルダを変更した場合はリセットされる。

リセット
"メモリースティック　デュオ"ごとに、ファイル番号を0001から付ける。

フォルダ作成

"メモリースティック　デュオ"内に、新フォルダ（102MSDCF ～ 999MSDCFまで）を作成できます。1つのフォルダが9999枚になると、自動的に新フォルダを作成します。

[はい] → [X] をタッチ。

- 1度作成した新フォルダは、本機で削除できません。"メモリースティック　デュオ"をフォーマットするか（42ページ）、パソコンなどで削除してください。
- フォルダが増えると、"メモリースティック　デュオ"の残量が減ることがあります。

記録フォルダ選択

[▲]/[▼]で記録するフォルダを選んで[OK]をタッチ。

- お買い上げ時の設定では、ファイルは「101MSDCF」に記録されます。
- いったん画像を記録すると、そのとき選ばれている記録先フォルダが、再生フォルダに設定されます。

再生フォルダ選択

[▲]/[▼]で再生するフォルダを選んで[OK]をタッチ。

ピクチャーアプリメニュー

画像への特殊効果追加や、応用的な撮影/再生機能（フェーダー/ピクチャーエフェクトなど）

▶は、お買い上げ時の設定。
(　)内の表示が画面に出ます。
操作方法は33ページをご覧ください。

フェーダー

場面間に、効果を入れながら、つなぎ撮りできます。

① 使いたい効果を選んで、OKをタッチ。
[オーバーラップ]、[ワイプ]、[ドットフェーダー]を選ぶと、テープ上の画像が静止画として記憶される。記憶中画面が青くなる。

② 録画スタート/ストップボタンを押す。
フェーダー表示が点灯に変わり、終了後消える。

解除するには①で[切]をタッチ。

ホワイトフェーダー

ブラックフェーダー

モザイクフェーダー

モノトーンフェーダー

フェードイン時は白黒→カラーに、
フェードアウト時はカラー→白黒になる。

オーバーラップ（フェードインのみ）

ワイプ（フェードインのみ）

ドットフェーダー（フェードインのみ）

デジタルエフェクト

演出を加えて画像を撮影したり、見たりできます。

① 設定する効果を選ぶ。

② [－]/[＋]で効果を調節してOKをタッチ。
[スチル]、[ルミキー]では、OKをタッチしたときの画像が静止画として記憶される。

効果	調節内容
スチル	背景の静止画の写り具合
フラッシュ	フラッシュの間隔
ルミキー	静止画部分の明るさ
トレイル	残像時間
スローシャッター *	シャッタースピード（1は1/30、2は1/15、3は1/8、4は1/4）
オールドムービー *	調節不要

* 撮影時のみ使えます。

③ OK をタッチ。
D✦が表示される。

解除するには手順①で[切]をタッチ。

メニューで設定を変更する

スチル
記録済みの静止画に、動画を重ねて撮影する。

フラッシュ（フラッシュモーション）
コマ送り撮影をする。

ルミキー（ルミナンスキー）
記録済みの静止画の明るい部分（人物の背景など）に、動画をはめ込んで撮影する。

トレイル
残像が尾を引くように撮影する。

スローシャッター
シャッタースピードが遅くなる。暗い場所での撮影向き。

- 自動でピントが合いにくいため、三脚などに固定して、手動でピントを合わせてください（[フォーカス]、39ページ）。

オールドムービー
昔の映画のようなセピア色の画像にする。

- 効果を加えて再生している画像を本機でテープに記録することはできません。
- 外部入力している画像に、効果を加えることはできません。また、再生画像にデジタルエフェクトを加えても、DV端子からは出力されません。
- 効果を加えた画像を、"メモリースティック デュオ"に取り込んだり（55ページ）、他のビデオやDVDに録画したり（53ページ）できます。

ピクチャーエフェクト

特殊効果を加えて撮影したり、見たりできます。P✦が表示されます。

▶切
ピクチャーエフェクトを使わない。

ネガアート
ネガフィルムのような画像。

セピア
古い写真のような画像。

モノトーン
白黒の画像。

ソラリ
明暗がはっきりして、イラストのような画像。

パステル*
淡い色の画像。

モザイク*
タイルを組み合わせたような画像。

* 再生時は使えません。

- 外部入力している画像に効果を加えることはできません。また、再生画像にピクチャーエフェクトを加えても、DV端子からは出力されません。

- 効果を加えた画像を、“メモリースティック デュオ”に取り込んだり(55ページ)、他のビデオやDVDに録画したり(53ページ)できます。

インターバル静止画記録

一定時間ごとに“メモリースティック デュオ”へ静止画を記録します。雲の動きや日照変化などを観測するときに便利です。

① [設定]→希望のウェイトタイム(1分、5分、10分)→[OK]→[入]→[OK]→[X]をタッチ。

② フォトボタンを深く押す。

　　が点滅から点灯に変わり、インターバル静止画記録が始まる。

解除するには①で[切]にする。

デモモード

お買い上げ時の設定は[入]のため、カセットと“メモリースティック　デュオ”両方を取り出し、電源スイッチを「撮る－テープ」にすると約10分後に本機の機能のデモンストレーションを見ることができます。

- 次のいずれかを行うと、デモンストレーションを中断できます。
  - デモンストレーション中に画面をタッチ(約10分後に再開します)。
  - カセットか“メモリースティック　デュオ”を入れる。
  - 電源スイッチを「撮る－テープ」以外にする。

プリント

59ページをご覧ください。

編集/変速再生メニュー

編集/変速再生の設定(変速再生/エンドサーチ操作など)

▶は、お買い上げ時の設定。
(　)内の表示が画面に出ます。
操作方法は33ページをご覧ください。

変速再生

テープの動画再生時に変速再生できます。

① 再生中に、下記のボタンをタッチ。

再生方法	タッチするボタン
逆方向に再生*	[◀II<](コマ送り)
スロー再生**	[スロー I▶] 逆方向には： [◀II<](コマ送り)→ [スロー I▶]
倍速再生	[×2](倍速再生) 逆方向には： [◀II<](コマ送り)→ [×2](倍速再生)
コマ送り	一時停止中に[>II▶](コマ送り) 逆方向へはコマ送り中に：[◀II<](コマ送り)

* 画面上下や中央に横じまが入ることがありますが、故障ではありません。
** DV端子から出力される画像は、なめらかにスロー再生されません。

② [↩]→[X]をタッチ。

通常再生に戻すには、[▶ II](再生/一時停止)を2回タッチ(「コマ送り」は1回)。

- 音声は出ません。また、映像がモザイク状に残ることがあります。

録画操作

54ページをご覧ください。

アフレコ操作

56ページをご覧ください。

メニューで設定を変更する

編集/変速再生メニュー（つづき）

ムービー録画操作

55ページをご覧ください。

DVD作成

本機をソニーパーソナルコンピューターVAIOシリーズに接続すると、テープに録画した画像を簡単にDVDに書き込むことができます（おまかせ「Click to DVD」）。詳しくは、「DVDを作る（おまかせ「Click to DVD」）」をご覧ください（70ページ）。

ビデオCD作成

本機をパソコンに接続すると、テープに録画した画像を簡単にCD-Rに書き込むことができます（おまかせビデオCD機能）。詳しくは、CD-ROM（付属）の「ファーストステップガイド」をご覧ください（69ページ）。

エンドサーチ操作

実行
最後に撮影した場面の約5秒間が再生され、自動的に止まる。

中止
エンドサーチを中止する。

基本設定メニュー

テープ撮影時の設定や、各種基本設定（録画モード/音声モード/パネル設定/画面表示出力/USBなど）

▶は、お買い上げ時の設定。
（　）内の表示が画面に出ます。
操作方法は33ページをご覧ください。

録画モード

▶SP（SP）
テープへSP（標準）モードで録画する。

LP（LP）
テープへSPモードの1.5倍の録画時間で長時間録画する。

- LPモードで録画したテープを他機で再生すると、モザイク状のノイズが現れたり、音声が途切れたりすることがあります。
- テープの途中でSP/LPモードを切り換えると、画像が乱れたり、タイムコードが正しくつながらないことがあります。

音声モード

▶12BIT
テープへ12ビット（2つのステレオ音声）で記録する。

16BIT（♪16b）
テープへ16ビット（高音質で1つのステレオ音声）で記録する。

音量

21ページをご覧ください。

バイリンガル

他機で二重音声（またはステレオ音声）で記録したテープを、本機で再生するときの音声が選べます。

▶**切**
主＋副音声（またはステレオ音声）で再生する。

メイン
主音声（または左音声）で再生する。

サブ
副音声(または右音声)で再生する。

- 本機は二重音声を再生できますが、記録はできません。
- 電源を外して5分以上経つと、[切]に自動的に戻ります。

音声ミックス

57ページをご覧ください。

サラウンド外部マイク設定

▶**ワイドステレオ(((•)))**
マイクロホン(別売り)を取り付けて臨場感のある2chの音声を記録する。

ステレオ
通常のステレオ音声で記録する。

- [ワイドステレオ]で記録するときには、別売りのマイクロホンECM-HQP1などの対応アクセサリーが必要です。
- マイクロホンが取り付けられていないときには、設定に関わらず[ステレオ]で記録されます。

パネル設定

設定を変更しても録画される画像に影響ありません。

■ パネル明るさ

液晶画面の明るさを調節できます。

① [－]/[＋]で調節する。
② [OK]をタッチ。

■ パネルバックライトレベル

液晶画面バックライトの明るさを調節できます。

▶**ノーマル**
通常の設定(標準の明るさ)。

明るい
画面が暗いと感じたときに選ぶ。

- コンセントにつないで使うと、設定は自動的に[明るい]になります。
- [明るい]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が約1割短くなります。

■ パネル色のこさ

[－]/[＋]で液晶画面の濃さを調節できます。

[－] [＋]
薄くなる　濃くなる

■ ワイド表示タイプ

ワイド画像の見えかたを設定できます。

▶**レターボックス**
通常の設定(標準の見えかた)。

スクイーズ
ワイド画像の上下に帯があって表示が見にくいとき、画像を上下に引きのばす。

A/V入力→DV出力

[入](A/V▸DV)にすると、デジタル機器とアナログ機器の間に本機をつなぎ、本機でデジタルとアナログの信号を変換できます。詳しくは、73ページをご覧ください。

ビデオ入力

AV接続ケーブルで相手機から映像を入力するときに接続する映像プラグを設定します。

▶**ビデオ**
AV接続ケーブル(付属)の映像プラグを使う。

Sビデオ
S映像ケーブルつきのAV接続ケーブル(別売り)のS映像プラグを使う。

USB－撮る

USBケーブルでカメラに映っている画像をパソコンなどにつないで見ることができます（USBストリーミング機能）。詳しくは、CD-ROM（付属）の「ファーストステップガイド」をご覧ください（62ページ）。

USB－見る/編集

USBケーブルで画像をパソコンなどにつないで見たり（62ページ）、PictBridge規格対応のプリンターと接続する（59ページ）ときに使います。

▶標準－USBモード
“メモリースティック　デュオ”の画像を見る。

PictBridge
59ページをご覧ください。

USBストリーム
テープの画像を見る。

表示ガイド

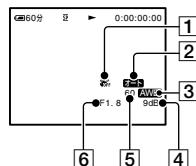
13ページをご覧ください。

データコード

撮影時に自動的に記録された情報（データコード）を確認できます。

▶切
データコードを表示しない。

日付時刻データ
日付、時刻を表示。

カメラデータ（下記）
カメラデータを表示。
シンプル操作中は選択できません。

1 手ぶれ補正*
2 明るさ調節*
3 ホワイトバランス*
4 ゲイン*
5 シャッタースピード
6 絞り値

* テープ再生時のみ

- “メモリースティック　デュオ”の動画再生時はカメラデータは表示されません。
- “メモリースティック　デュオ”の静止画再生時は、露出補正値（0EV）とシャッタースピード、絞り値が表示されます。
- フラッシュ（別売り）を使って撮影した画像は、⚡が表示されます。
- [日付時刻データ]のときは、同じエリアに日時が表示されます。日時、時刻を設定せずに撮影すると、[---- -- --]と[--:--:--]が表示されます。

残量表示

▶オート
次のときにテープ残量を約8秒間表示する。
- カセットが入った状態で電源スイッチを「見る/編集」か「撮る－テープ」にしたとき
- ▶ ❚❚（再生/一時停止）をタッチしたとき

入
テープ残量を常に表示する。

リモコン

お買い上げ時の設定は[入]のため、付属のワイヤレスリモコン(30ページ)が使えます。

- [切]に設定すると、他機のリモコンによる誤動作を防げます。
- 電源を外してから5分以上経つと、自動的に[入]に戻ります。

録画ランプ

[切]に設定すると、本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しないようにできます。(お買い上げ時の設定は[入])

おしらせブザー

▶入
撮影スタート/ストップ時、タッチパネルでの操作時などにメロディが鳴る。

切
操作音を出さない。

画面表示出力

▶パネル
タイムコードなどの画面表示を液晶画面に出す。

ビデオ出力/パネル
画面表示をテレビ画面、液晶画面に出す。

メニュー操作方向

▶ノーマル
[▲]をタッチするとメニュー項目が下に回転する。

逆方向
[▲]をタッチするとメニュー項目が上に回転する。

自動電源オフ

▶5分後
何も操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる。

なし
自動的に電源は切れない。

- コンセントにつないで使うと自動的に[なし]になります。

キャリブレーション

102ページをご覧ください。

時間設定メニュー

（日時あわせ/時差補正）

操作方法は33ページをご覧ください。

日時あわせ

14ページをご覧ください。

時差補正

海外で使うときは、[－]/[＋]で時差を設定し、現地時刻に合わせる。
時差を0に設定すると元の設定に戻る。

パーソナルメニューを変更する

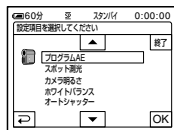
希望のメニュー項目を、電源スイッチの位置ごとに、パーソナルメニューに登録できます。よく使う項目を登録しておくと便利です。

項目を追加する

電源ランプの位置ごとに、最大28項目まで登録できます。登録数がいっぱいのときは、不要な項目を削除してください。

1 [P.メニュー]→[P.メニュー設定]→[追加]をタッチ。

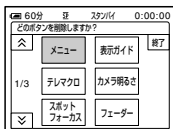
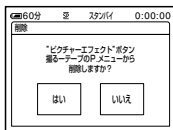
画面にないときは、[⌃]/[⌄]をタッチして表示させる。

2 [▲]/[▼]で設定項目を選び、[OK]をタッチ。

3 [▲]/[▼]で項目を選び、[OK]→[はい]→[✕]をタッチ。

項目がパーソナルメニューの最後に追加される。

項目を削除する

1 P.メニュー→[P.メニュー設定]→[削除]をタッチ。

画面にないときは、⌃/⌄をタッチして表示させる。

2 削除する項目をタッチ。

3 [はい]→☒をタッチ。

- [メニュー]と[P.メニュー設定]は削除できません。

表示位置を並べ替える

1 P.メニュー→[P.メニュー設定]→[並べ替え]をタッチ。

画面にないときは、⌃/⌄をタッチして表示させる。

2 移動する項目をタッチ。

3 ▲/▼で項目を移動する。

4 OKをタッチ。

続けて並べ替えるときは手順2～4を行う。

5 [終了]→☒をタッチ。

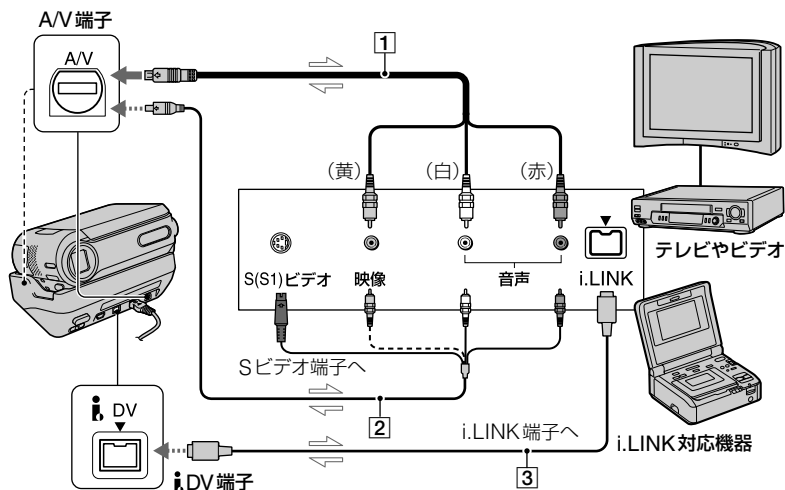
- [P.メニュー設定]は並べ替えられません。

お買い上げ時の設定に戻す（リセット）

P.メニュー→[P.メニュー設定]→[リセット]→[はい]→[はい]→☒をタッチ。

画面にないときは、⌃/⌄をタッチして表示させる。

ビデオやテレビにつなぐ

下の図のいずれかの方法でつなぎます。電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください(8ページ)。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

：信号の流れ

1 AV接続ケーブル(付属)

本機またはハンディカムステーションにAV接続ケーブルを接続します。A/V端子は、アナログ信号の入出力を兼用し、動作状態によって自動的に切り換わります。

2 S映像ケーブル付きのAV接続ケーブル(別売り)

S(またはS1)映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のAV接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ(左右音声端子)とS映像プラグ(S映像端子)のみ接続し、黄色いプラグ(映像端子)は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

3 i.LINKケーブル(別売り)

i.LINK端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、デジタル信号でやり取りするため、劣化がほとんどない映像/音声を楽しめます。

映像または音声のみの記録はできません。

- 他機の画像を本機へダビングする場合は他機の出力端子へ、本機の画像を他機へダビングする場合は他機の入力端子へ、AV接続ケーブルをそれぞれつなぎます。
- 他機がモノラル(ひとつの音声入力/出力)の場合は、AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力/出力へ、白いプラグ(左音声)または赤いプラグ(右音声)を音声入力/出力へつなぎます。
- AV接続ケーブルでつなぐときは、[画面表示出力]を[パネル](お買い上げ時の設定)にしてください(49ページ)。
- 本機のA/V端子に接続するときは、ハンディカムステーションから本機を取り外してください。

他のビデオやDVD機器などにダビングする

本機の画像を他のビデオやDVD機器へダビングできます。

1 本機と他機（ビデオ/DVD）をつなぐ。

接続について詳しくは、52ページをご覧ください。

2 録画側（ビデオ/DVD）の準備をする。

ビデオは録画用カセット、DVDレコーダーは録画用DVDを入れる。

入力切り換えスイッチがある場合は「入力（ビデオ1、ビデオ2など）」にする。

3 本機（再生側）の準備をする。

撮影済みのカセットを入れる。

4 本機で再生を始め、他機（ビデオ/DVD）で録画する。

詳しくは、ビデオやDVD機器の取扱説明書をご覧ください。

5 ダビングが終わったら、他機（ビデオ/DVD）の録画を停止し、本機の再生を停止する。

- i.DV端子接続では、以下は録画されません。
  - 画面表示
  - ［ピクチャーエフェクト］（44ページ）/［デジタルエフェクト］（43ページ）/再生ズーム（23ページ）を加えた画像
  - 他機で付けたタイトル
- AV接続ケーブル（付属）でつないで日付などのデータコードをダビングしたいときは、データコードを表示させてください（48ページ）。
- i.LINKケーブル（別売り）接続時は、機器やアプリケーションなどによってはデータコード（日付時刻/カメラデータ）が表示、記録されないことがあります。
- i.LINKケーブル（別売り）接続時は、再生一時停止中の画像を録画すると、画像が粗くなることがあります。

ビデオやテレビの画像を本機で録画する

ビデオの画像やテレビ番組を本機のテープや"メモリースティック　デュオ"に録画できます。"メモリースティック　デュオ"には静止画としても記録できます。
あらかじめ、本機に録画用テープまたは"メモリースティック　デュオ"を入れておいてください。

- テレビに出力端子がない場合は、録画できません。

動画を録画する

1 テレビやビデオを再生機としてつなぐ。

接続について詳しくは、52ページをご覧ください。

- AV接続ケーブル（付属）でつなぐ場合は、他機の出力端子に接続してください。
- i.LINKケーブルでつなぐと、本機の画面にDV INが表示されます（接続側の画面にも表示されることもあります）。

2 ビデオの場合は、ダビングするカセットを入れる。

3 本機の電源スイッチを「見る/編集」にする。

4 本機で録画操作する。

テープに取り込むときは、[P.メニュー]→[録画操作]→[録画ポーズ]をタッチ。

"メモリースティック　デュオ"に取り込むときは、[P.メニュー]→[メニュー]→編集/変速再生→[ムービー録画操作]をタッチ。

5 ビデオを再生、またはテレビ番組を受信する。

再生側の画像が本機の画面に映る。

6 録画を開始したい画面で[録画スタート]をタッチ。

7 録画を止める。

テープに取り込むときは、[■]（停止）または[録画ポーズ]をタッチ。

"メモリースティック　デュオ"に取り込むときは、[録画ストップ]をタッチ。

8 [↩]→[×]をタッチ。

静止画を記録する

1 「動画を録画する」の手順1～3を行う。

2 ビデオを再生、またはテレビ番組を受信する。

再生側の画像が本機の液晶画面に映ります。

3 記録したい場面でフォトボタンを軽く押し、画像を確認したら深く押す。

テープの画像を"メモリースティック　デュオ"に取り込む

動画または静止画を"メモリースティック　デュオ"に記録できます。あらかじめ録画済みのテープと"メモリースティック　デュオ"を入れておいてください。

1 電源スイッチを「見る/編集」にする。

2 場面を探して、取り込む。

静止画として取り込む

►II(再生)をタッチしてテープを再生し、取り込む場面でフォトボタンを軽く押し、画面を確認して深く押す。

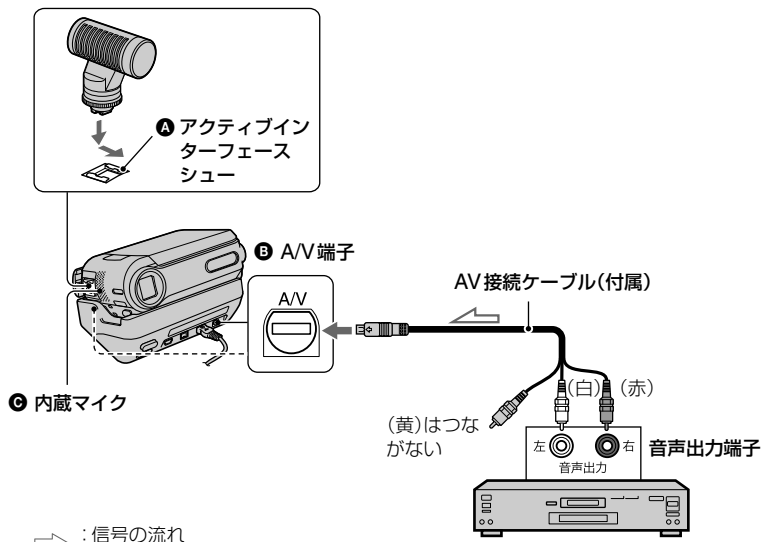
動画として取り込む

P.メニュー→[メニュー]→ 編集/変速再生→[ムービー録画操作]→►II(再生)をタッチしてテープを再生し、録画を開始したい場面で[録画スタート]をタッチ。
止めたいところで[録画ストップ]→■(停止)→ → をタッチ。

- "メモリースティック　デュオ"に取り込んだときの日時は記録されますが、テープに記録されたデータコードは記録できません。
- 音声は32kHzのモノラルで記録されます。
- 動画の撮影可能時間については、41ページをご覧ください。

追加録音(アフレコ)する

テープに録画したビデオ(音声モード12bit(46ページ))に、撮影時の音声を消すことなく、メッセージや説明などを、追加録音(アフレコ)できます。

接続する

次のいずれかで音声を入力する。

Ⓐ 別売りの外部マイクをアクティブインターフェースシューにつなぐ

Ⓑ オーディオ機器などをハンディカムステーションまたは本機のA/V端子につなぐ

Ⓒ 内蔵マイク(接続不要)

複数つないだときは、Ⓐ→Ⓑ→Ⓒの順番で優先されます。

次のときは、アフレコできません。

– 16bitモード(46ページ)で録画されたテープ
– LPモードで録画されたテープ
– i.LINKケーブルがつながれている
– テープの無記録部分
– 他機で4CHマイク記録したテープ
– 異なるTVカラーシステムで録画されたテープ
– カセットが誤消去防止状態

- A/V端子や内蔵マイクでアフレコするとき、A/V端子から映像は出力されません。映像は液晶画面で確認してください。
- 別売りの外部マイクをアクティブインターフェースシューにつないだときは、AV接続ケーブルでテレビなどとつないで画像と音声を確認できます。アフレコする音声は本機スピーカーからは出力されないため、テレビなどで確認してください。
- 本機のA/V端子に接続するときは、ハンディカムステーションから本機を取り外してください。

アフレコする

あらかじめ、本機に録画したカセットを入れておいてください。

1 電源スイッチを「見る/編集」にする。

2 ▶II(再生/一時停止)をタッチして再生し、アフレコする開始点で、▶IIをもう一度タッチして一時停止する。

3 P.メニュー→[メニュー]→編集/変速再生→[アフレコ操作]→OK→[アフレコ]をタッチ。

●IIが表示

4 ▶II(再生)をタッチすると同時に、オーディオ機やマイクで、追加する音声を出す。

●マークが表示されて、画像を再生しながら、音声をステレオ2に追加して記録される。

5 止めたいところで■(停止)をタッチ。

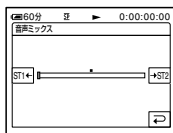
他にもアフレコする場合は、手順2で画面を選び、[アフレコ]をタッチ。

6 ↩→☒をタッチ。

- アフレコする終了点を決めるには、あらかじめ再生中に、終了したい場面でリモコンのゼロセットメモリーボタンを押しておきます。手順2から4を行うと自動的に録音が止まります。
- 本機で録画したテープにアフレコしてください。他のビデオ(本機以外のDCR-PC55を含む)で録画したテープにアフレコすると音質が劣化することがあります。

アフレコした音声を確認する

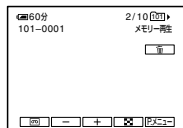
① アフレコしたテープを再生する(21ページ)。

② P.メニュー→[メニュー]→基本設定→OK→[音声ミックス]→OKをタッチ。

③ ST1←/→ST2で撮影時の音声(ST1:ステレオ1)とアフレコした音声(ST2:ステレオ2)の音声バランスを調整し、OKをタッチ。

- お買い上げ時は、ステレオ1の音のみが出る設定になっています。
- 調整したバランスは、電源をはずして5分以上経つと、お買い上げ時の設定に戻ります。

“メモリースティック　デュオ”の画像を消す

1 電源スイッチを「見る/編集」にする。

2 [メモリー]をタッチ。

3 [－]/[＋]で削除する画像を表示させる。

- すべての画像を消去するには、メニューの[全消去]（41ページ）で削除します。

4 [🗑]→[はい]をタッチ。

- いったん削除した画像は元に戻せません。

- インデックス表示画面（21ページ）で、[設定]→[🗑削除]→削除する画像→[OK]→[はい]をタッチしても画像を削除できます。6枚ずつ画像を一覧できるので、消す画像を簡単に探せます。
- “メモリースティック　デュオ”が誤消去防止になっているとき（97ページ）やプロテクトされている画像（58ページ）は削除できません。

“メモリースティック　デュオ”の画像にマークをつける

（プロテクト/プリントマーク）

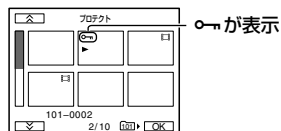
誤消去防止スイッチ付きの“メモリースティック　デュオ”のときは、あらかじめ誤消去防止を解除してください（97ページ）。

記録した画像を保護する（プロテクト）

画像に誤消去防止（プロテクト）指定できます。

1 電源スイッチを「見る/編集」にする。

2 [メモリー]→[▦]→[設定]→[プロテクト]をタッチ。

3 プロテクトする画像をタッチ。

4 [OK]→[終了]をタッチ。

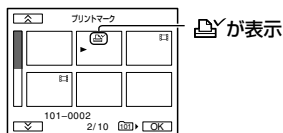
- プロテクトを外すには、手順**3**で外す画像をもう1度タッチ。

静止画にプリント用のマークを付ける（プリントマーク）

プリントしたい画像をあらかじめ本機で予約できます。DPOF（Digital Print Order Format）規格に対応しているお店やプリンター、PictBridge対応のプリンターで画像をプリントするときなどに便利です。

1 電源スイッチを「見る/編集」にする。

2 メモリー → ▦ → 設定 → [プリントマーク] をタッチ。

3 プリントマークを付ける画像をタッチ。

4 OK → [終了] をタッチ。

- プリントマークを外すには、手順**3**で、外す画像をもう1度タッチ。
- 他機でプリントマークを付けた画像が“メモリースティック　デュオ”に入っているときに本機でプリントマークを付けると、他機でプリントマークをつけた画像の情報が変更される場合があります。

記録した画像を印刷する
（PictBridge対応プリンター）

PictBridge対応のプリンターを使えば、本機で撮影した静止画をパソコンなしで印刷できます。

PictBridge

電源は付属のACアダプターを使ってコンセントから取ってください。
あらかじめ、本機に静止画を記録した“メモリースティック　デュオ”を入れて、プリンターの電源を入れてください。

本機とプリンターを接続する

1 本機の電源スイッチを「見る/編集」にする。

2 P.メニュー → [メニュー] → 基本設定 → [USB-見る/編集] → [PictBridge] → OK → ↩ をタッチ。

3 USBケーブルでハンディカムステーションのUSB端子（61ページ）とプリンターをつなぐ。

4 ハンディカムステーションの ψ（USB）ON/OFFスイッチ（61ページ）を「ON」にする。

ダビングや編集をする

次のページへつづく ➡

5 ピクチャーアプリ→[プリント]をタッチ。

本機とプリンターの接続が完了すると画面に（PictBridge接続中）が表示される。

“メモリースティック　デュオ”に記録されている画像が表示される。

- PictBridge規格未対応機器との接続は、動作保証いたしません。

印刷する

1 [－]/[＋]で印刷する画像を選ぶ。

2 [設定]→[印刷部数]をタッチ。

3 [－]/[＋]で印刷部数を設定する。

1枚の静止画で最大20枚まで印刷部数を設定できる。

4 [OK]→[終了]をタッチ。

日付を入れて印刷するには、[設定]→[日付/時刻]→[年月日]または[日時分]→[OK]をタッチ。

5 [実行]→[はい]をタッチ。

印刷が完了すると[プリント中です]の表示が消え、画像選択画面に戻る。

印刷終了後、[終了]をタッチ。

- プリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 画面にが表示中に以下の操作すると、正常な処理が行われません。
  – 電源スイッチを切り換える。
  – ハンディカムステーションまたはプリンターからUSBケーブルを抜く。
  – 本機から“メモリースティック　デュオ”を抜く。
- プリンターが動作しなくなった場合は、USBケーブルを抜いて最初から操作をやり直してください。
- プリンターによっては、日付印刷に対応していないものがあります。プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- 本機以外の機器で撮影した画像の印刷に関しては保証いたしません。
- PictBridge（ピクトブリッジ）とは、カメラ映像機器工業会（CIPA）で制定された統一規格のことです。メーカーや機種に関係なく、ビデオカメラやデジタルスチルカメラを直接プリンターに接続し、パソコンを使わずに画像を印刷できます。

外部機器をつなぐ端子について

本体

ハンディカムステーション

1 アクティブインターフェースシュー
Active Interface Shoe(56ページ)
専用マイクやフラッシュなどを使用時、本機から電源供給し、本機の電源スイッチに連動して、接続機器の電源入/切ができます。お使いになるアクセサリーの取扱説明書をあわせてご覧ください。

- 外部機器を接続するときは、シューカバーを外してください。カバーを手前にずらして開けてください。
- シューカバーを開けるときには、本機をハンディカムステーションから取り外してください。
- 接続機器が外れにくい構造になっています。取り付けるときは、押しながら奥まで差し込み、ネジを確実に締め付けてください。取り外すときは、ネジをゆるめ、上から押しながら外してください。
- フラッシュ（別売り）を付けたまま“メモリースティック　デュオ”に撮影するときは、充電音が録音されないように、フラッシュの電源を切ってください。
- 外部マイク(別売り)を接続すると、内蔵ステレオマイク(24ページ)より優先されます。

2 A/V端子(32、52、56、73ページ)

3 DC IN端子(8ページ)

4 インターフェースコネクタ(8ページ)

5 DV端子(32、70、73ページ)

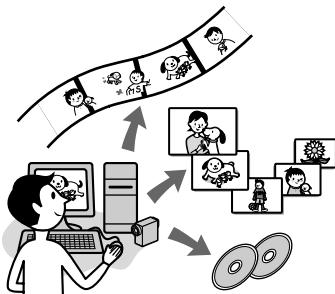
6 (USB)端子(62ページ)

7 (USB) ON/OFFスイッチ
- USB接続時は「ON」にする。

パソコンで「ファーストステップガイド」を見る前に

付属のCD-ROMからWindowsパソコンにPicture Package Ver.1.5をインストールすると、本機とパソコンを接続して、次のような操作を楽しむことができます。

- Macintoshをお使いのかたは、ソフトウェアや使える機能がWindowsとは異なります。詳しくはCD-ROM（付属）の「ファーストステップガイド」の6章をご覧下さい。「ファーストステップガイド」について詳しくは63ページをご覧ください。
- 本機とパソコンをつなぐには以下の2つの方法があります。
  – USBケーブル（付属）でつなぐ
    テープに記録された映像や音声、または“メモリースティック　デュオ”に記録されたファイルをパソコンに取り込んだり、“メモリースティック　デュオ”にファイルを書き込んだりする場合に向いています。
  – i.LINKケーブル（別売り）でつなぐ
    テープに記録された映像や音声をより鮮明に取り込むことができます。

接続について詳しくは、「ファーストステップガイド」をご覧ください。

画像をパソコンで見る
本機から取り込んだ画像を、サムネイル表示から選んで見ることができます。取り込んだ日付ごとに保存されます。

Myビデオ&Myスライドショーを自動作成
パソコンにコピーした動画や静止画を素材として、音楽や効果音付きのショートオリジナルビデオやショートオリジナルスライドショーを簡単に作成できます。

Myビデオを簡単自動作成
テープに撮影した画像を素材として、音楽や効果音付きのショートオリジナルビデオを簡単に作成できます。

テープをビデオCDにコピーする
テープの画像をビデオCDにコピーすることができます。

CD-Rに画像を保存する
パソコンに取り込んだ画像をバックアップとしてCD-Rに保存することができます。

ビデオCDの作成
メニュー付きの画像やスライドショーでビデオCDを作成することができます。ImageMixer VCD2は高精細静止画に対応しています。

USBストリーミング
本機で再生している画像や撮影している画像をパソコンで見ることができます。

ビデオキャプチャー
テープの全ての画像をパソコンに取り込めます。

- CD-ROM（付属）には以下のソフトウェアが含まれています。
  – USBドライバ
  – Picture Package Ver.1.5
  – ImageMixer VCD2
  – 「ファーストステップガイド」

「ファーストステップガイド」について

「ファーストステップガイド」はパソコン上で見ることができるマニュアルです。本機とパソコンの接続や初期設定からCD-ROM(付属)に含まれているソフトウェアを初めて使うときに必要な基本操作までを説明しています。「ソフトウェアと「ファーストステップガイド」をインストールする」(65ページ)をご覧になりながらインストールしたあとに、「ファーストステップガイド」を起動して、手順に従ってください。

ソフトウェアに付属のヘルプのご案内

ソフトウェアの全ての機能を説明しています。「ファーストステップガイド」で操作の概要を理解したうえで、さらに詳しい操作方法を知りたいときは、ヘルプをご覧ください。ヘルプを見るには、画面上の[?]マークをクリックしてください。

推奨パソコン環境について

■ Windowsをお使いの場合

Picture Packageを使うときの推奨パソコン環境

対応OS：Microsoft Windows 98/Windows 98SE/Windows 2000 Professional/Windows Millennium Edition/Windows XP Home Edition/Windows XP Professional
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOS内でもアップグレードした場合は動作保証いたしません。
Windows 98では、USBストリーミングは対応していません。
Windows 98およびWindows 98SEでは、DV取り込みは対応していません。

CPU：Pentium Ⅲ 500MHz以上
(Pentium Ⅲ 800MHz以上を推奨します。なお、ImageMixer VCD2をお使いの場合は、Pentium Ⅲ 800MHz以上を推奨します。)

必要なソフトウェア：DirectX 9.0c以降
(DirectXテクノロジに対応しておりますので、ご使用の際はDirectXが組み込まれている必要があります。)
Windows Media Player 7.0以降
Macromedia Flash Player 6.0以降

サウンドカード：16ビットのステレオサウンドカードおよびスピーカー

メモリー：64MB以上

ハードディスク：インストールに必要なディスク容量：約500MB以上/推奨するハードディスクの空き容量：6GB以上(編集する画像ファイルサイズにより異なります。)

ディスプレイ：4MBのVRAMを搭載したビデオカード、解像度は800×600ドット以上、High Color(16ビットカラー65 000色)、DirectDrawドライバ対応(800×600ドット未満、256色以下では正常に動作しません。)

その他必要な装置：USB端子標準装備、DV端子(IEEE1394、i.LINK接続時)、ディスクドライブ(ビデオCD作成時には、CD-Rドライブが必要です。対応可能なドライブについて詳しくは、Picture Packageのホームページをご覧ください。
http://www.ppackage.com/)

“メモリースティック　デュオ”の画像をパソコンで見るときの推奨パソコン環境

対応OS：Microsoft Windows 98/Windows 98SE/Windows 2000 Professional/Windows Millennium Edition/Windows XP Home Edition/Windows XP Professional
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOS内でもアップグレードした場合は動作保証いたしません。

CPU：MMX Pentium 200MHz以上

必要なソフトウェア：Windows Media Player（動画再生時に必要です。）

その他必要な装置：USB端子標準装備、ディスクドライブ

■ Macintoshをお使いの場合
ImageMixer VCD2を使用する場合

対応OS：Mac OS X（v10.1.5以降）

CPU：iMac、eMac、iBook、PowerBook、PowerMac G3/G4/G5シリーズ

メモリー：128MB以上

ハードディスク：インストールに必要なディスク容量：約250MB以上/推奨するハードディスクの空き容量：4GB以上（編集する画像ファイルサイズにより異なります。）

ディスプレイ：1 024×768ドット以上、カラー32 000色（この製品は1 024×768ドット、カラー256色では正しく動作しません。）

必要なソフトウェア：QuickTime 4以降（QuickTime 5を推奨します。）

その他必要な装置：ディスクドライブ

“メモリースティック　デュオ”からの画像の取り込みのみを行う場合

対応OS：Mac OS 9.1/9.2/Mac OS X（v10.0/v10.1/v10.2/v10.3）

必要なソフトウェア：QuickTime 3.0以降（動画再生時に必要です。）

その他必要な装置：USB端子標準装備

- ビデオカメラとMacintoshパソコンをUSBケーブルで接続した場合は、ビデオカメラのテープの画像をパソコンへ取り込むことはできません。テープの画像の取り込みは、ビデオカメラとパソコンをi.LINKケーブルで接続し、OSに標準装備のソフトウェアを使用して行ってください。

ソフトウェアと「ファーストステップガイド」をインストールする

本機をパソコンにつなぐ前に、ソフトウェアをインストールします。1度インストールすれば、次回からはインストール不要です。
パソコンのOSによって、使用するソフトウェアが異なります。
Windowsパソコン：PicturePackage（ImageMixer VCD2含む）
Macintoshパソコン：ImageMixer VCD2
ソフトウェアの使用方法について詳しくは、同時にインストールされるパソコンで見るマニュアル「ファーストステップガイド」をご覧ください。

Windowsパソコンにインストールするときは

Windows 2000/Windows XPのときは、Administrator権限でログオンしてください。

1 本機とパソコンが接続していないことを確認する。

2 パソコンの電源を入れる。

ソフトウェアをインストールする前にすべてのアプリケーションを終了してください。

3 パソコンのディスクドライブにCD-ROM（付属）をセットする。

インストール画面が表示されます。

インストール画面が表示されないときは

① ［マイコンピュータ］をダブルクリックする。
② ［PICTUREPACKAGE（E：）］（CD-ROM）*をダブルクリックする。
* ドライブ文字（（E:）など）は、使うパソコンによって異なることがあります。

4 ［インストール］をクリックする。

パソコンのOSによっては、InstallSheild Wizardで「ファーストステップガイド」が自動的にインストールできないメッセージが表示されます。その場合、メッセージの指示に従って、パソコンに「ファーストステップガイド」を手動でコピーしてください。

次のページへつづく➡

5 [日本語]を選び、[次へ]をクリックする。

6 [次へ]をクリックする。

7 [使用許諾契約]の内容をよく読み、同意される場合は[使用許諾契約の全条項に同意します]にチェックを入れ、[次へ]をクリックする。

8 インストール先を選択して、[次へ]をクリックする。

9 [インストール準備の完了]画面の[インストール]をクリックする。

Picture Packageのインストールが始まります。

10 [日本語]を選び、[次へ]をクリックする。

パソコンによっては、この画面は表示されません。その場合は手順12に進んでください。

11 「ファーストステップガイド」をインストールするために[次へ]をクリックする。

12 [次へ]をクリックし、ImageMixer VCD2をインストールするために画面の指示に従う。

13 もし[Microsoft(R) DirectX(R)をインストールしています]画面が表示されたら、DirectX 9.0cをインストールするために以下の手順を行う。表示されない場合は、手順14に進む。

① [使用許諾契約]の内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

② [次へ]をクリックする。

③ [完了]をクリックする。

14 [はい、今すぐコンピュータを再起動します]がチェックされていることを確認して、[完了]をクリックする。

パソコンの電源がいったん切れたあと、自動的に電源が入ります(再起動)。デスクトップ画面に[Picture Package Menu]と[Picture Package Menu取り込み先フォルダ]（手順11、12でインストールができた場合は、[ファーストステップガイド])のショートカットが表示されます。

15 パソコンからCD-ROMを取り出す。

- Picture Packageについてのお問い合わせは69ページをご覧ください。

パソコンとつなぐ

Macintoshパソコンにインストールするときは

1 本機とパソコンが接続していないことを確認する。

2 パソコンの電源を入れる。

ソフトウェアをインストールする前にすべてのアプリリケーションを終了してください。

3 パソコンのディスクドライブにCD-ROM（付属）をセットする。

4 CD-ROMアイコンをダブルクリックする。

5 「FirstStepGuide」フォルダの中の「FirstStepGuide.pdf」をコピーする。

6 CD-ROMの中の［Mac］フォルダの中の［IMXINST.SIT］を任意のフォルダーにコピーする。

7 コピー先のフォルダの中の［IMXINST.SIT］をダブルクリックする。

8 解凍された［ImageMixerVCD2_Install］をダブルクリックする。

9 承認画面が表示されたら、ユーザーの名前とパスワードを入力する。

ImageMixer VCD2のインストールが始まります。

- ImageMixer VCD2の詳しい操作方法はソフトウェアのオンラインヘルプをご覧ください。

「ファーストステップガイド」を見る

「ファーストステップガイド」を表示する

Windowsパソコンで起動するには

Microsoft Internet Explorer Ver.6.0以降で見ることをおすすめします。

デスクトップのアイコンをダブルクリックする。

[スタート]→[プログラム]（Windows XPをお使いのかたは[すべてのプログラム]）→[Picture Package]→[First Step Guide]を選んで、「First Step Guide」を起動させることもできます。

- 「ファーストステップガイド」を自動インストールせずにHTML形式でご覧になる場合は、CD-ROMの[FirstStepGuide]にある言語フォルダをパソコンにコピーし、[index.html]をダブルクリックしてください。
- 下記のときは「FirstStepGuide.pdf」をご覧ください。
  – 「ファーストステップガイド」を印刷したい。
  – ブラウザの設定により、推奨環境でも正常に表示されない。
  – HTML形式で自動インストールできない。

Macintoshパソコンで起動するには

「FirstStepGuide.pdf」をダブルクリックする。

PDFをご覧になるにはAdobe Readerが必要です。パソコンにインストールされていない場合には下記のホームページからダウンロードすることができます。
http://www.adobe.co.jp

ソフトウェアについてのお問い合わせ先

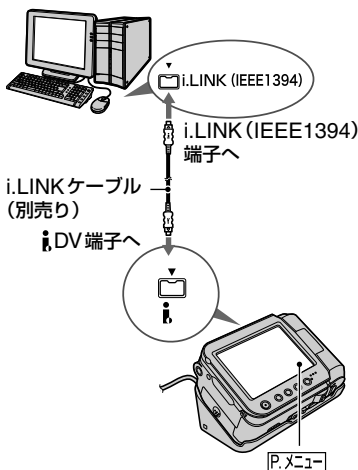
ピクセラユーザーサポートセンター

Picture Package、ImageMixer VCD2に関する問い合わせを受け付けています。
電話：06-6633-3900
受付時間：月～日曜日　午前9時～午後5時（ただし、年末、年始、祝日を除く）
Picture Package：
http://www.ppackage.com/
ImageMixer VCD2：
http://www.ImageMixer.com/

著作権について

あなたがCDやネットワーク等から入手した音楽著作物の著作権は、それぞれの音楽著作物の権利者に帰属します。これらの音楽著作物を、法令で認められている私的使用等の範囲を超えて使用（複製、改変、再生、アップロード、特定多数もしくは不特定多数が利用できる家庭外ネットワークへ送信すること又は送信可能な状態におくこと、譲渡、頒布、貸与、ライセンス、販売、出版等を含む）することは、権利者からの許可を得ない限り認められていません。ソニーによるPicture Packageの提供は、これら第三者の音楽著作物に関してあなたになんらの権利を許諾するものではありませんので、ご注意ください。

DVDを作る（おまかせ「Click to DVD」）

本機を「Click to DVD」対応のソニーパーソナルコンピューターVAIOシリーズ*にi.LINKケーブル（別売り）でつなぐと、テープの画像からDVDを作成することができます。画像の取り込みからDVDへの書き込みまで、すべて自動で行います。
ここでは、テープ1本をそのままDVDに取り込む手順を説明します。使用できるパソコンや動作環境について、詳しくは下記のURLをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

- この機能はi.LINKケーブル（別売り）で接続した場合のみ使えます。USBケーブルは使えません。

* パソコンのDVDドライブがDVDに書き込み対応で、ソニーオリジナル・ソフトウェア「Click to DVD Ver.1.2」以降があらかじめインストールされている必要があります。

おまかせ「Click to DVD」機能を初めて使うときは

おまかせ「Click to DVD」機能を使うと、本機をパソコンに接続すれば、簡単な操作でDVDを作成できます。この機能を使うときは、あらかじめパソコンの「Click to DVD おまかせサーバー」を起動する必要があります。

① パソコンの電源を入れる。

② スタートメニューをクリックし、[すべてのプログラム]を選ぶ。

③ 表示されたプログラムの中から[Click to DVD]を選び、「Click to DVD おまかせサーバー」をクリックする。

「Click to DVD おまかせサーバー」が起動します。

- 「Click to DVD おまかせサーバー」は、1度起動すると、2回目以降はパソコンの電源を入れるだけで自動的に起動します。
- 「Click to DVD おまかせサーバー」は、Windows XPのユーザーごとに起動の設定がされます。

1 パソコンの電源を入れる。

i.LINKを使うアプリケーションが起動しているときは、終了しておいてください。

2 本機の電源を準備して、電源スイッチを「見る/編集」にする。

DVD作成には時間がかかりますので、電源は付属のACアダプターをお使いください。

3 録画済みのカセットを入れる。

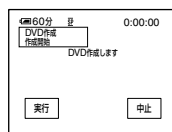
4 i.LINKケーブル(別売り)で、本機とパソコンをつなぐ(70ページ)。

- 接続するときは、端子の向きを確認してからつないでください。無理に押し込むと、端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。
- 詳しくは、CD-ROM(付属)の「ファーストステップガイド」をご覧ください。

5 本機の液晶画面で P.メニュー→[メニュー]→ 編集/変速再生→[DVD作成]→ OK をタッチ。

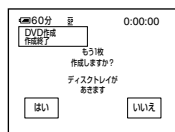
パソコンに「Click to DVD」画面が表示されます。

6 パソコンのディスクドライブに書き込み用DVDをセットする。

7 本機の液晶画面で[実行]をタッチ。

パソコンの作業状況が本機画面に表示されます。
取り込み：本機からテープの画像を取り込む。
変換：取り込んだ画像をMPEG2方式に変換する。
書き込み：変換されたテープの画像をDVDに書き込む。

パソコンとつなぐ

- すでに書き込まれているDVD-RW/+RWを使うと、[書き込み済みディスクです記録されているデータは消去されます]が表示されます。[実行]をタッチすると書き込み済みのデータは消去され、新しいデータを書き込みます。

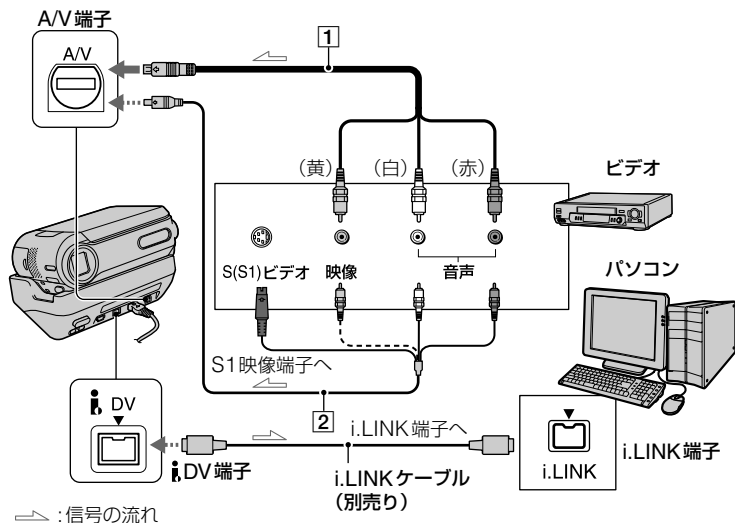
8 DVD作成を終了するには、本機の液晶画面で[いいえ]をタッチ。

パソコンのディスクトレイが自動的に開きます。
同じ内容のDVDをもう1枚作成するときは、[はい]をタッチします。ディスクトレイが自動的に開きます。新しい書き込み用DVDをディスクドライブにセットして手順7、8を行ってください。

DVD作成を途中でやめるには

本機の液晶画面で[中止]をタッチ。

- 本機画面に[終了処理中です]と表示されているときはDVD作成を中止できません。
- 画像を取り込むまで、i.LINKケーブル（別売り）を抜いたり、本機の電源スイッチを切り換えたりしないでください。
- 本機画面に[変換]、[書き込み]が表示されているときはすでに画像の取り込みは終了しています。i.LINKケーブル（別売り）を抜いたり、本機の電源を切っても、パソコンはDVD作成を続けます。
- 次のときはパソコンは画像の取り込みを中止し、その時点までのDVDを作成します。詳しくは「Click to DVDおまかせサーバー」のヘルプをご覧ください。
  – テープの途中に10秒以上の無記録部分がある
  – テープの日付データが先の画像よりも前の日付になっている
- 次のときは、本機を操作することはできません。
  – テープ走行中
  – “メモリースティック　デュオ”に画像を記録中
  – パソコンから「Click to DVD」を起動させたとき
  – 本機のメニューで[A/V入力→DV出力]が[入]に設定されている

本機を経由してビデオ機器をパソコンにつなぐ（デジタル変換機能）

AV接続ケーブルとi.LINKケーブル（別売り）をつないで、ビデオ機器などのアナログ信号をデジタル信号に変換して出力し、パソコンなどのデジタル機にダビングできます。
ビデオ信号の取り込みができるソフトウェアがあらかじめパソコンにインストールされている必要があります。

1 **AV接続ケーブル（付属）**
ハンディカムステーションにAV接続ケーブルを接続してください。A/V端子は、アナログ信号を入力します。

2 **S映像ケーブル付きのAV接続ケーブル（別売り）**
S（またはS1）映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のAV接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ（左右音声端子）とS映像プラグ（S映像端子）のみ接続し、黄色いプラグ（映像端子）は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

あらかじめメニューの[画面表示出力]を[パネル]に設定する（49ページ）。（お買い上げ時の設定は[パネル]。）

1 ビデオ機器（アナログ）の電源を入れる。

2 本機の電源スイッチを「見る/編集」にする。

電源は付属のACアダプターをお使いください。

3 本機の液晶画面で P.メニュー →［メニュー］→ 基本設定 →［A/V入力→DV出力］→［入］→ OK をタッチ。

パソコンとつなぐ

4 ビデオ機器(アナログ)で再生を始める。

5 パソコンで取り込みを開始する。

操作について詳しくはソフトウェアに付属の取扱説明書、またはオンラインヘルプをご覧下さい。

取り込み終わったら、パソコンの取り込みを停止し、ビデオ機器の再生を停止する。

- 付属のソフトウェア(Picture PackageおよびImageMixer VCD2)はデジタル変換機能に対応していません。
- 本機に入力される映像信号の状態によっては、本機から正しく画像を出力できないことがあります。
- 著作権保護の信号が記録されているソフトウェアの画像は、本機を経由して出力しても、パソコンへ取り込めません。
- i.LINKケーブル(別売り)の代わりにUSBケーブルでもつなげますが、画像がなめらかに映らないことがあります。
- USBケーブルやi.LINKケーブルなどで本機とパソコンを接続する場合、端子の向きを確認してからつないでください。無理に押し込むと、端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、
テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

全体操作/シンプル操作について

電源が入らない。

- バッテリーの消耗または消耗間近、未装着。
- 充電されたバッテリーを取り付ける(8ページ)。
- ACアダプターをコンセントに差し込む(8ページ)。
- 本機がハンディカムステーションに正しく取り付けられているか確認する(8ページ)。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源(バッテリーまたはACアダプターの電源コード)を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。それでも操作できないときは、RESET（リセット）ボタン(24ページ)を先のとがったもので押す。（パーソナルメニュー項目以外のすべての設定が解除される。）

ボタンが操作できない。

- シンプル操作中は使えるボタンが限られます(18ページ)。

シンプル操作/通常操作に切り換えられない。

- 撮影中とUSBケーブルを使って他機と通信中は、シンプル操作から通常操作への切り換えはできません。

シンプル操作にすると、設定が変わる。

- シンプル操作に切り換えると、画面に表示されない項目は初期設定に戻る。シンプル操作を終了すると、シンプル操作前の状態に戻る。

デモモードに切り換わらない。

- カセットと“メモリースティック　デュオ”を取り出す(15ページ)。

本体があたたかくなる。

- 長時間電源を入れたままにしたためで、故障ではありません。

本機をハンディカムステーションに取り付けられない。

- リストストラップが本機とハンディカムステーションの間にはさまっている(9ページ)。
- シューカバーが正しく閉じている/開いているか確認する(61ページ)。

バッテリー/電源について

電源が途中で切れる。

- お買い上げ時の設定では、操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる（自動電源オフ）。[自動電源オフ]の設定を変更する（49ページ）か、もう1度電源を入れる（11ページ）、またはACアダプターを使用する。
- バッテリーを充電する（8ページ）。

バッテリーの充電中、充電ランプが点灯しない。

- 電源スイッチを「切（充電）」にする（8ページ）。
- バッテリーを正しく取り付け直す（8ページ）。
- コンセントから電源が供給されていない（8ページ）。
- 本機をハンディカムステーションに正しく取り付ける（8 ページ）。
- すでに充電が完了している（8ページ）。

バッテリーの充電中、充電ランプが点滅する。

- バッテリーを正しく取り付け直す。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、テクニカルインフォメーションセンターに問い合わせる（裏表紙）。

バッテリー残量が充分あるのに電源がすぐ切れる。

- 残量表示にズレが生じている、または充電が不充分。満充電し直すと残量が正しく表示される（8ページ）。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分。故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する（8、99ページ）。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。液晶画面を開閉したときは正しい残量時間を表示するまで約1分かかります。

バッテリーの消耗が早い。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分。故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が早いときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する（8、99ページ）。

ACアダプターを使用中、本機に不具合が生じる。

- 電源を切り、コンセントからプラグを抜いてから、もう1度電源をつなぐ。

液晶画面について

液晶画面に見慣れない画面が現れる。

- [デモモード]になっている(45ページ)。液晶画面のどこかを押す、またはカセットや“メモリースティック　デュオ”を入れる。

見慣れない表示が出る。

- 警告表示またはお知らせメッセージです。91ページをご覧ください。

液晶画面に画像が残る。

- 電源を入れた状態でバッテリーを外したり、DC プラグを抜いたためで、故障ではありません。

液晶画面バックライトを「切」にできない。

- シンプル操作中(18ページ)は操作できません。

タッチパネルのボタンが表示されない。

- 液晶画面を軽くタッチする。
- 画面表示/バッテリーインフォボタン(またはリモコンの画面表示ボタン)を押す(13ページ)。

タッチパネルのボタンが操作できない/正しく操作できない。

- 画面を調節([キャリブレーション])する(102ページ)。

カセットについて

カセットが取り出せない。

- 電源(バッテリーやACアダプター)が正しく接続されているか確認する(8ページ)。
- バッテリーを外して、もう1度取り付ける(8ページ)。
- 充電されたバッテリーを取り付ける(8ページ)。

カセットカバーを開けてもテープが出てこない。

- 本機が結露しかけている(101ページ)。

カセットメモリー付きカセットで、カセットメモリー表示やタイトル表示が出ない。

- 本機は、カセットメモリーに対応していないため、表示されません。

テープ残量表示が出ない。

- 常に表示させたいときは、[📼 残量表示]を[入]にする(48ページ)。

テープの巻き戻し、早送り時の音が大きい。

- ACアダプター使用時は、バッテリー使用時より高速になるため音が大きくなります。

“メモリースティック　デュオ”について

操作を受け付けない。

- 電源スイッチを「撮る－メモリー」または「見る/編集」にする（11ページ）。
- “メモリースティック　デュオ”を入れる（15ページ）。
- パソコンでフォーマットした“メモリースティック　デュオ”を入れている場合は、本機でフォーマットする（42ページ）。

“メモリースティック　デュオ”の画像を消去できない。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック　デュオ”は、誤消去防止を解除する（97ページ）。
- プロテクトを解除する（58ページ）。
- インデックス表示で１度に消去できる画像は100枚まで。

“メモリースティック　デュオ”の画像を全消去できない。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック　デュオ”は、誤消去防止を解除する（97ページ）。
- プロテクトを解除する（58ページ）。

“メモリースティック　デュオ”をフォーマットできない。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック　デュオ”は、誤消去防止を解除する（97ページ）。

プロテクトが実行できない。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック　デュオ”は、誤消去防止を解除する（97ページ）。
- インデックス表示にしてから、プロテクトを実行し直す（58ページ）。

プリントマークが実行できない。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック　デュオ”は、誤消去防止を解除する（97ページ）。
- インデックス表示にしてから、プリントマークを実行し直す（58ページ）。
- プリントマークは1000枚以上付けられません。
- 動画には付けられません。

データファイル名が正しくない。

- ディレクトリー構造が規格に準拠しないと、ファイル名のみ表示されることがある。

- ファイルが壊れている。ソニー製“メモリースティック　デュオ”をお使いのときは、下記のホームページをご覧ください。
  メモリースティック　データ復旧サービス
  http://www.sony.co.jp/Products/mssupport/datarescue/jp.html
- 本機で対応していないファイル形式を使っている（97ページ）。

データファイル名が点滅している。

- ファイルが壊れている。ソニー製“メモリースティック　デュオ”をお使いのときは、下記のホームページをご覧ください。
  メモリースティック　データ復旧サービス
  http://www.sony.co.jp/Products/mssupport/datarescue/jp.html
- 本機で対応していないファイル形式を使っている（97ページ）。

撮影について

「撮影時の画像調節について」（80ページ）、「“メモリースティック　デュオ”について」（78ページ）もご覧ください。

録画スタート/ストップボタンを押しても、テープが走行しない。

- 電源スイッチを「撮る－テープ」にする（20ページ）。
- テープが最後まで行っている。巻き戻すか、新しいカセットを入れる。
- カセットの誤消去防止ツマミをRECにする。または新しいカセットを入れる（96ページ）。
- 結露でテープがヘッドドラムに貼り付いている。カセットを取り出して、約1時間してから入れ直す（101ページ）。

“メモリースティック　デュオ”に撮影できない。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック　デュオ”は、誤消去防止を解除する（97ページ）。
- メモリー容量いっぱいの場合は、不要な画像を消す（58ページ）。
- 本機で“メモリースティック　デュオ”をフォーマットし直すか（42ページ）、別の“メモリースティック　デュオ”を入れる。
- [ワイド切換]が[16:9ワイド]のとき、テープ撮影中に静止画を記録することはできません。

テープできれいにつなぎ撮りできない。

- テープできれいにつないで撮影するには、次の点に気をつける。
  – エンドサーチする（29ページ）
  – カセットを取り出さない（電源を切ってもきれいにつなぎ撮りできます）。
  – 同じテープにSPとLPの両モードを混ぜてつなぎ撮りしない。
  – LPモードでつなぎ撮りしない。

次のページへつづく➡

静止画撮影時にシャッター音が出ない。

- ［おしらせブザー］を［入］にする（49ページ）。

別売りのフラッシュが発光しない。

- フラッシュの電源が入っていない。または、正しく取り付けられていない。

エンドサーチができない。

- 撮影後にカセットを取り出したため（29ページ）。
- カセットを入れてからエンドサーチするまでに、1回も撮影していない。

エンドサーチが誤動作する。

- テープの始めや途中に無記録部分があるためで、故障ではありません。

撮影時の画像調節について

「メニュー操作について」（83ページ）もご覧ください。

オートフォーカスができない。

- ［フォーカス］を［オート］にする（39ページ）。
- オートフォーカスが働きにくい状態のときは、手動でピントを合わせる（39ページ）。

手ぶれ補正ができない。

- ［手ぶれ補正］を［入］にする（40ページ）。

逆光補正ができない。

- ［カメラ明るさ］の［マニュアル］（38ページ）や、［スポット測光］（37ページ）を設定すると、逆光補正は解除されます。
- シンプル操作中は、働きません。

［フラッシュレベル］を変更できない。

- シンプル操作中は、［フラッシュレベル］（39ページ）を変更できません。

［デジタルズーム］ができない。

- ［テレマクロ］中は［デジタルズーム］は働きません。

ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。

- 背景とのコントラストが強い被写体のときに出る現象で、故障ではありません。

明るい被写体を映すと、縦に尾を引いたような画像になる。

- スミア現象と呼ばれるもので、故障ではありません。

画面に白や赤、青、緑の点が出ることがある。

- [スローシャッター]や[COLOR SLOW S]のときに出る現象で、故障ではありません。

画面が白すぎて画像が見えない。

- 逆光補正(22ページ)を解除する。

画面が暗すぎて画像が見えない。

- 画面表示/バッテリーインフォボタンを数秒間押したままにして、バックライトを点灯する(12ページ)。

画像が明るくなる、ちらつく(フリッカー)、色が変化する。

- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で、[ソフトポートレート]や[スポーツレッスン]モードで撮影したため。[プログラムAE]を解除する(37ページ)。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- [手ぶれ補正]を[切]にする(40ページ)。

再生について

「"メモリースティック　デュオ"について」(78ページ)もご覧ください。

テープ再生ができない。

- 電源スイッチを「見る/編集」にする。
- テープを巻き戻す(21ページ)。

"メモリースティック　デュオ"が正しい画像サイズで再生できない。

- 他機で撮影した画像は、正しい画像サイズで表示されないことがあります。故障ではありません。

"メモリースティック　デュオ"の画像データが再生できない。

- USBモードになっているため。USB接続を終了して、ハンディカムステーションの(USB)ON/OFFスイッチ(61ページ)を「OFF」にする。
- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像加工すると、再生できない場合があります(ファイル名が点滅)。故障ではありません(98ページ)。
- 他機で撮影した画像は、再生できないことがあります。故障ではありません(98ページ)。
- パソコンで加工した画像は、本機で再生できないことがあります。

画像に横線が入る、画像がぼけたり、映らなかったりする。

- ビデオヘッドが汚れているので、別売りのクリーニングカセットできれいにする(102ページ)。

次のページへつづく →

音声が小さい。または聞こえない。

- ［バイリンガル］を［切］にする（46ページ）。
- 音量を大きくする（21ページ）。
- ［音声ミックス］を［ST2］側（アフレコ音声）から最適な音声になるまで調節する（57ページ）。
- S映像プラグだけでつないでいるため。AV接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ（32ページ）。

音声が途切れる。

- ビデオヘッドが汚れているので、別売りのクリーニングカセットできれいにする（102ページ）。

［－ － －］が表示される。

- 日付時刻を設定しないで録画したテープを再生している。
- テープの無記録部分を再生している。
- テープに傷やノイズがあると、データコードを読めません。

ノイズが現れ、画面上にPALと表示される。

- テープに記録されているTVカラーシステムがPALなど、本機のカラーシステム（NTSC）と違うため（95ページ）。故障ではありません。

画面上に♪4ch-12bと表示される。

- 他機で4CHマイク記録されたテープを再生している。本機は4CHマイク記録には対応していません。

日付サーチが正しく操作できない。

- 日付の変更点の間隔は2分以上必要です。短いと正しく検出されない場合があります。
- テープの始めや途中に無記録部分があると、日付サーチが正しく働かないことがあります。故障ではありません。

リモコンについて

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- ［リモコン］を［入］にする（49ページ）。
- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがある。
- 電池を交換する。電池の＋極と－極を正しく入れる（103ページ）。
- リモコン受光部（24ページ）に向けてリモコンを操作する。

リモコン操作中にほかのビデオが誤動作する。

- ビデオデッキのリモコンスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさぐ。

メニュー操作について

メニュー項目が灰色で表示される。

- その撮影/再生条件では選択できません。

[プログラムAE]ができない。

- 次の設定のとき、[プログラムAE]はできません。
  – [COLOR SLOW S]
  – [テレマクロ]
- 電源スイッチを「撮る−メモリー」にしたとき、[スポーツレッスン]はできません。

[スポット測光]ができない。

- [COLOR SLOW S]設定中は、[スポット測光]はできません。
- [プログラムAE]を設定すると[スポット測光]は[オート]に戻る。

[カメラ明るさ]を手動で調節できない。

- [COLOR SLOW S]設定中は、手動で明るさを調節できません。
- [プログラムAE]を設定すると[カメラ明るさ]は[オート]に戻る。

[スポットフォーカス]ができない。

- [プログラムAE]中は、[スポットフォーカス]はできません。

[テレマクロ]ができない。

- 次の設定のとき、[テレマクロ]はできません。
  – [プログラムAE]
  – テープまたは"メモリースティック　デュオ"に動画を録画中

[COLOR SLOW S]が正しくできない。

- まったく光のない場所では、[COLOR SLOW S]が正しく働かないときがあります。
- 次の設定のとき、[COLOR SLOW S]は働きません。
  – [フェーダー]
  – [デジタルエフェクト]
  – [プログラムAE]
  – [カメラ明るさ]
  – [スポット測光]

次のページへつづく ➡

[フェーダー]ができない。

- 次の設定のとき、[フェーダー]はできません。
  – [セルフタイマー]
  – [COLOR SLOW S]
  – [デジタルエフェクト]

[デジタルエフェクト]ができない。

- 次の設定のとき、[デジタルエフェクト]はできません。
  – [COLOR SLOW S]
  – [フェーダー]
- [プログラムAE]が[オート]以外のとき、[スローシャッター]、[オールドムービー]は働きません。
- 次の設定のとき、[オールドムービー]は働きません。
  – [ワイド切換]モード
  – [ピクチャーエフェクト]

ダビング、編集、外部機器接続について

つないだ機器(外部入力)の映像が、液晶画面に映らない。

- [画面表示出力]を[パネル]にする(49ページ)。
- [画面表示出力](49ページ)が、[ビデオ出力/パネル]のとき、画面表示/バッテリーインフォボタンを押すと、外部入力ができなくなります。
- 他機につないだ映像プラグを確認し、[ビデオ入力]を正しく設定する(47ページ)。

つないだ機器(外部入力)の映像が拡大できない。

- 外部入力している画像は本機でズームできません。

つないだ機器の画面にタイムコードなどが表示される。

- AV接続ケーブルを使って接続するときは、メニューの[画面表示出力]を[パネル]にする(49ページ)。

AV接続ケーブルを使ってダビングができない。

- [画面表示出力]を[パネル]にする(49ページ)。
- AV接続ケーブルが正しくつながれていない。
  他機の画像を本機へダビングする場合は他機の出力端子へ、本機の画像を他機へダビングする場合は他機の入力端子へつながれているか確認する。

アフレコした音声が聞こえない。

- [音声ミックス]を[ST1](オリジナルテープ音声)側から最適な音声になるまで調節する(57ページ)。

テープから“メモリースティック　デュオ”へ静止画を取り込めない。

- 繰り返しダビングしているなど、記録状態の悪いテープは録画できなかったり、乱れた画像が記録されたりすることがあります。

テープから“メモリースティック　デュオ”へ動画を取り込めない。

- 以下の場合、録画できなかったり、乱れた画像が記録されたりすることがあります。
  – テープに無記録部分がある。
  – 繰り返しダビングしているなど記録状態の悪いテープから画像を取り込もうとした。
  – 入力信号が途絶えた。

本機へ外部入力できない。

- ［画面表示出力］（49ページ）が［ビデオ出力/パネル］のとき、外部入力できません。
- 画面表示/バッテリーインフォボタンを押すと、外部入力できません。

パソコンとの接続について

本機がパソコンに認識されない。 USB i.LINK

- パソコンと本機からケーブルを抜き、もう1度しっかりと差し込む。
- ハンディカムステーションの⚲（USB） ON/OFFスイッチを「ON」にする。
- ハンディカムステーションに正しく取り付ける。
- キーボード、マウス以外の、パソコンのUSB端子につながれている他の機器を外す。
- パソコンと本機からケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ。

付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、エラーメッセージが出る。

- パソコンのディスプレイを次のように設定する。
  – Windowsパソコンをお使いの場合
  800×600ドット、High Color（16bitカラー 65 000色）以上
  – Macintoshをお使いの場合
  1 024×768ドット、32 000色モード以上

パソコンで本機が映している映像が見られない。 USB i.LINK

- ケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう1度つなぐ。
- USBケーブル（付属）でWindowsパソコンに接続しているときは、電源スイッチを「撮る－テープ」にして、［USB－撮る］を［USBストリーム］にする（48ページ）。

テープの画像がパソコン画面に表示されない。 USB i.LINK

- ケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう1度つなぐ。
- USBケーブル（付属）でWindowsパソコンに接続しているときは、電源スイッチを「見る/編集」にして、［USB－見る/編集］を［USBストリーム］にする（48ページ）。

テープの画像がMacintoshパソコンで見られない。USB

- 本機とパソコンをUSBケーブル（付属）で接続しているときは、テープの画像を取り込めません。本機とパソコンをi.LINKケーブル（別売り）で接続して、OSに標準装備のソフトウェアを使用してください。

“メモリースティック　デュオ”の画像がパソコンで見られない。USB

- “メモリースティック　デュオ”の向きを確かめて、本機に奥までしっかりと入れる。
- i.LINKケーブルでは取り込めないため、USBケーブルで取り込む。
- 電源スイッチを「見る/編集」にして、[USB－見る/編集]を[標準－USBモード]にする（48ページ）。
- テープ再生中や編集中など、本機を操作していると“メモリースティック　デュオ”はパソコンに認識されません。本機の操作を終了してから、本機とパソコンをもう1度つなぐ。

“メモリースティック”のアイコン（[リムーバブルディスク]か[Memory Stick]）がパソコン画面に表示されない。USB

- 本機に“メモリースティック　デュオ”を入れる。
- キーボード、マウス、本機以外で、パソコンのUSB端子につながれている他の機器を取り外す。
- 本機の電源スイッチを「見る/編集」にして、[USB－見る/編集]を[標準－USBモード]にする（48ページ）。
- テープ再生中や編集中など、本機を操作していると“メモリースティック　デュオ”はパソコンに認識されません。本機の操作を終了してから、もう1度パソコンとつなぐ。

USBケーブルで接続してもWindowsパソコン上で画像が表示されない。USB

- USBドライバをインストールする前に、USBケーブルを使って、本機とパソコンをつないだため。以下の手順で、正しく認識されなかったドライバを削除してから、USBドライバをもう1度インストールする。

■ Windows 98/Windows 98SE/Windows Meをお使いの場合

テープの画像は、Windows 98では動作保証されていません。

1. 本機がパソコンにつながっているかを確認する。
2. [マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]をクリック。

   [システムのプロパティ]画面が表示される。
3. [デバイスマネージャ]のタブをクリック。
4. 正しく認識されなかった以下のドライバが入っていたら、右クリック→[削除]をクリック。

   テープのとき

   – [サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ]の中に[USB オーディオデバイス]

   – [その他のデバイス] に[USB Device]

   – [ユニバーサルシリアルバスコントローラ] に[USB 互換デバイス]

“メモリースティック　デュオ”のとき

– ［その他のデバイス］の中の“？”マークのついた［？ Sony Handycam］か［？ Sony DSC］

5 ［デバイス削除の確認］画面が表示されたら、［OK］ボタンをクリックして、削除する。

6 本機の電源を切って、USBケーブルを外したあと、パソコンを再起動する。

7 付属のCD-ROMをディスクドライブに入れる。

8 下記の手順でUSBドライバをインストールし直す。

1 ［マイコンピュータ］をダブルクリック。

2 ［PICTUREPACKAGE（E：）］（ディスクドライブ）*を右クリック。

* ドライブ文字（(E:)など）は、使うパソコンによって異なることがあります。

3 ［開く］をクリック。

4 ［Driver］をダブルクリック。

5 ［Setup.exe］をダブルクリック。

• ［USB オーディオデバイス］、［USB Device］、［USB 互換デバイス］、［？ Sony Handycam］、［？ Sony DSC］以外を削除すると、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

■ Windows 2000をお使いの場合

Administratorか Administrator権限のユーザー IDでログオンしてください。

1 本機がパソコンにつながっていることを確認する。

2 ［マイコンピュータ］を右クリック→［プロパティ］をクリック。

［システムのプロパティ］画面が表示される。

3 ［ハードウェア］のタブ→［デバイスマネージャ］→［表示］→［デバイス（種類別）］をクリック。

4 正しく認識されなかった以下のドライバが入っていたら、右クリックし、［アンインストール］をクリック。

テープのとき

– ［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］に［USB 複合デバイス］

– ［サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ］に［USBオーディオデバイス］

– ［その他のデバイス］に［Composite USB Device］

“メモリースティック　デュオ”のとき

– ［その他のデバイス］に“？”マークのついた［？ Sony Handycam］か［？ Sony DSC］

5 ［デバイス削除の確認］画面が表示されたら、［OK］ボタンをクリックして削除する。

6 本機の電源を切って、USBケーブルをはずしたあと、パソコンを再起動する。

7 付属のCD-ROMをディスクドライブに入れる。

8 下記の手順でUSBドライバをインストールし直す。

1 ［マイコンピュータ］をダブルクリック。

次のページへつづく ➡

2 ［PICTUREPACKAGE（E：）］（ディスクドライブ）*を右クリック。

* ドライブ文字（(E:)など）は、使うパソコンによって異なることがあります。

3 ［開く］をクリック。

4 ［Driver］をダブルクリック。

5 ［Setup.exe］をダブルクリック。

- ［USB 複合デバイス］、［USBオーディオデバイス］、［Composite USB Device］、［？ Sony Handycam］、［？ Sony DSC］以外を削除すると、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

■ **Windows XPをお使いの場合**

コンピューターの管理者のユーザーIDでログオンしてください。

1 本機がパソコンにつながっていることを確認する。

2 ［スタート］をクリック。

3 ［マイコンピュータ］を右クリック→［プロパティ］をクリック。

［システムのプロパティ］画面が表示されます。

4 ［ハードウェア］のタブ→［デバイスマネージャ］→［表示］→［デバイス（種類別）］をクリック。

5 正しく認識されなかった以下のドライバが入っていたら、右クリックし、［削除］をクリック。

テープのとき

– ［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］に［USB 複合デバイス］

– ［サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ］に［USB オーディオデバイス］

– ［その他のデバイス］に［USB Device］

“メモリースティック　デュオ”のとき

– ［その他のデバイス］に“？”マークのついた［？ Sony Handycam］か［？ Sony DSC］

6 ［デバイス削除の確認］画面が表示されたら、［OK］ボタンをクリックして削除する。

7 本機の電源を切って、USBケーブルをはずしたあと、パソコンを再起動する。

8 付属のCD-ROMをディスクドライブに入れる。

9 下記の手順でUSBドライバをインストールし直す。

1 ［マイコンピュータ］をダブルクリック。

2 ［PICTUREPACKAGE（E：）］（ディスクドライブ）*を右クリック。

* ドライブ文字（(E:)など）は、使うパソコンによって異なることがあります。

3 ［開く］をクリック。

4 ［Driver］をダブルクリック。

5 ［Setup.exe］をダブルクリック。

- ［USB 複合デバイス］、［USB オーディオデバイス］、［USB Device］、［？ Sony Handycam］、［？ Sony DSC］以外を削除すると、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

Windowsパソコンに画像の転送ができない。USB

- 以下の手順で、"メモリースティック　デュオ"の画像をパソコンに表示する。
  1 [マイコンピュータ]をダブルクリック。
  2 新しく認識された[リムーバブルディスク]（Windows XPでは[Memory Stick]）のアイコンをダブルクリック。
  表示されるまで時間がかかることがあります。
  表示されないときは、USBドライバが正しくインストールされていない可能性があります。
  3 画像ファイルをダブルクリック。

本機の液晶画面に[USB接続中はシンプル操作に設定できません]または[USB接続中はシンプル操作を解除できません]と表示される。USB

- USB接続中はシンプル操作の設定、解除はできません。USB接続を外してから行ってください。

WindowsパソコンにUSBケーブル（付属）で接続しているとき、音声が出ない。USB

- パソコン環境によっては、音声が出ないことがあるため、以下の手順で設定を変更する。
  1 [スタート]→[プログラム]（Windows XPの場合は[すべてのプログラム]）→[Picture Package]→[Handycam Tools]→[USB Streaming Tool]の順に選び、[USB Streaming Tool]を起動する。
  2 [音声デバイスの選択]画面で、音の出るデバイスを選択する。
  3 画面の指示に従い[次へ]→[終了]をクリック。
- Windows 98のパソコンでは音声が出ません。

USBストリーミング中に画像がコマ落ちする。USB

- 以下の手順で設定を変更する。
  1 [スタート]→[プログラム]（Windows XPの場合は[すべてのプログラム]）→[Picture Package]→[Handycam Tools]→[USB Streaming Tool]の順に選び[USB Streaming Tool]を起動する。
  2 [画質の調整]画面でスライダーを（－）方向へ動かす。
  3 画面の指示に従い、[次へ]→[終了]をクリック。

Picture Packageが正しく動作しない。

- Picture Packageを終了し、Windowsパソコンを再起動する。

Picture Packageを使用中にエラーメッセージが出る。

- 本機の電源スイッチは、Picture Packageを終了させてから切り換える。

次のページへつづく ➡

Picture Package Auto Video、Producer、CD BackupまたはVCD Makerで、CD-Rドライブの認識ができない、またはCD-Rに書き込みができない。

- 対応可能なドライブについては、下記のホームページをご覧ください。
  http://www.ppackage.com/

ソニーパーソナルコンピューター VAIOシリーズにインストールされているソフトウェア「DVgate」を使って画像の編集をしようとすると、本機を認識しない。

- 「DVgate/DVgate Motion/DVgate Still」のバージョンが
  DVgate Ver.2.2.00/01
  DVgate Ver.2.1.xx
  DVgate Ver.2.0.xx
  DVgate Motion Ver.1.4.xx/DVgate Still Ver.1.2.xx
  に該当する場合は、本機との接続について詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
  デジタルイメージングカスタマーサポート
  http://www.sony.co.jp/support-di/

本機の液晶画面に[USBストリーミング中です　メモリースティックの記録・再生はできません]が表示される。USB

- USBストリーミングが終わってから、“メモリースティック　デュオ”への記録、メモリー再生の操作をする。

「ファーストステップガイド」が正しく表示されない。

- 以下の手順で「ファーストステップガイド」（FirstStepGuide.pdf）をご覧ください。
  1 付属のCD-ROMをディスクドライブに入れる。
  2 [マイコンピュータ]をダブルクリック。
  3 [PICTUREPACKAGE（E：）]（ディスクドライブ）*を右クリック。
  * ドライブ文字（（E:）など）は、使うパソコンによって異なることがあります。
  4 [エクスプローラ]をクリック。
  5 [FirstStepGuide]をダブルクリック。
  6 [JP]（日本語）をダブルクリック。
  7 [FirstStepGuide.pdf]をダブルクリック。

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示/警告表示

液晶画面に、以下のように表示されます。お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

C:（または E:）□□:□□（自己診断表示）

C:04:□□

- "インフォリチウム"以外のバッテリーが使われている。必ず"インフォリチウム"バッテリーを使う（99ページ）。

C:21:□□

- 結露している。カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す（101ページ）。

C:22:□□

- ビデオヘッドが汚れている。別売りのクリーニングカセットできれいにする（102ページ）。

C:31:□□ / C:32:□□

- 上記以外の症状になっている。カセットを入れ直し、もう1度操作し直す。ただし、本機が結露気味のときは、この操作をしないでください（101ページ）。
- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう1度操作し直す。
- カセットを交換する。リセットボタン（24ページ）を押してからもう1度操作し直す。

E:61:□□ / E:62:□□

- 修理が必要なため、テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

101-1001（ファイル関連の警告）

- ファイルが壊れている。
- 扱えないファイル（97ページ）。

（バッテリー残量に関する警告）

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約5 ～ 10分でも警告表示が点滅することがある。

（結露の警告）*

- カセットを取り出し、電源をはずして、カセット入れを開けたまま、約1時間放置する（101ページ）。

（"メモリースティック　デュオ"関連の警告）

- "メモリースティック デュオ"が入っていない（15ページ）。

（"メモリースティック　デュオ"フォーマット関連の警告）*

- "メモリースティック　デュオ"が壊れている。
- "メモリースティック　デュオ"が正しくフォーマットされていない（42、97ページ）。

（非対応"メモリースティック　デュオ"関連の警告）*

- 本機では使えない"メモリースティック　デュオ"を入れた（97ページ）。

次のページへつづく ➡

(テープ関連の警告)

遅い点滅
- テープ残量が5分を切った。
- カセットが入っていない。*
- カセットが誤消去防止状態になっている(96ページ)。*

速い点滅
- テープが終わっている。*

⏏(テープを取り出す必要がある警告)*

遅い点滅
- カセットが誤消去防止状態になっている(96ページ)。

速い点滅
- 結露している(101ページ)。
- 自己診断表示が表示されている(91ページ)。

(画像消去に関する警告)*
- 画像が消去できないようになっている(58ページ)。

(“メモリースティック デュオ”誤消去防止に関する警告)*
- “メモリースティック デュオ”が誤消去防止状態になっている(97ページ)。

(外付けフラッシュ関連の警告)

遅い点滅
- 充電中

速い点滅
- フラッシュに異常がある。

* 警告表示やお知らせメッセージが出るときに、[おしらせブザー]が鳴ります(49ページ)。

お知らせメッセージの説明

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

■ バッテリー

"インフォリチウム"バッテリーを使ってください (99ページ)

バッテリーを取りかえてください
(8、99ページ)

このバッテリーは古くなりました　取りかえてください (99ページ)

⏏電源を取り付けなおしてください
(8ページ)

■ 結露

⏏結露しています
カセットを取り出してください
(101ページ)

結露しています
約1時間放置してください (101ページ)

■ カセット/テープ

カセットを入れてください
(15ページ)

⏏カセットを入れなおしてください
- テープの損傷などがないかも確認する。

⏏カセットの誤消去防止ツマミを確認してください (96ページ)

テープが終わっています
- テープを巻き戻すか交換する。

■ “メモリースティック　デュオ”

メモリースティックを入れてください（15ページ）

メモリースティックを入れなおしてください

- “メモリースティック　デュオ”を2、3回入れ直す。それでも表示されるときは“メモリースティック　デュオ”が壊れていることがあるので交換する。

読み出し専用のメモリースティックです

- 書き込みができる“メモリースティック　デュオ”を入れる。

非対応のメモリースティックです

- 本機では使えない“メモリースティック　デュオ”が入っている（97ページ）。

このメモリースティックはフォーマットが違います

- “メモリースティック　デュオ”のフォーマットを確認し、必要ならばフォーマットする（42、97ページ）。

このメモリースティックは空き容量がたりません　これ以上は記録できません

- 不要な画像を消す（58ページ）。

メモリースティックの誤消去防止ツマミを確認してください（97ページ）

再生できません　メモリースティックを入れなおしてください（15ページ）

記録できません　メモリースティックを入れなおしてください（15ページ）

ファイルがありません

- “メモリースティック　デュオ”になにも記録されていない、または認識できる画像がない。

USBストリーミング中です　メモリースティックの記録・再生はできません

- USBストリーミング中に記録または再生しようとしている。

メモリースティックのフォルダがいっぱいです

- 作成できるフォルダは、999MSDCFまでです。本機でフォルダ消去はできません。
- フォーマットするか（42ページ）、パソコンで不要なフォルダを消去する。

メモリースティックに静止画記録できない状態です（79ページ）

メモリースティックに動画記録できない状態です（79ページ）

■ PictBridge対応プリンター

接続先を確認してください

- プリンターの電源を入れなおし、USBケーブルをいったん抜いてからもう1度つなぐ。

PictBridge対応プリンターと接続してください

- プリンターの電源を入れなおし、USBケーブルをいったん抜いてからもう1度つなぐ。

異常が確認されました　中止してください

- プリンターを確認する。

プリントできません　プリンターを確認してください

- プリンターの電源を入れなおし、USBケーブルをいったん抜いてからもう1度つなぐ。

■ フラッシュ

充電中です　静止画記録はできません

- フラッシュ（別売り）の充電中に静止画記録しようとしている。

■ レンズカバー

レンズカバーが開ききっていません　電源を入れなおしてください（11ページ）

レンズカバーを閉じられませんでした　レンズカバーを閉じたい場合は電源を入れなおしてください（11ページ）

■ その他

コピープロテクトされています　記録できません（96ページ）

DV入力のアフレコはできません
"i.LINK"ケーブルを抜いてください
（56ページ）

SP以外の録画モードで記録されている部分です　アフレコできません
（56ページ）

12bit以外の音声モードで記録されている部分です　アフレコできません
（56ページ）

無記録部分です　アフレコできません
（56ページ）

アフレコできません（56ページ）

⊗ ヘッドが汚れています　クリーニングカセットを使ってください
（102ページ）

⊗ ヘッドが汚れているか、正常に録画できていません。クリーニングカセットのご使用をおすすめします（102ページ）

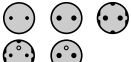
シンプル操作に設定できません
シンプル操作を解除できません
（75ページ）

シンプル操作中　撮る－テープモードではUSBは無効です

- 電源スイッチを「見る/編集」にして、[標準－USB]を選んだときでもシンプル操作を使うことができます。ただし、[PictBridge]と[USBストリーム]を選んだときは、シンプル操作を使うことはできません。（OKをタッチするとメッセージは消えます）。

HDV記録テープです　再生できません

- HDV形式は本機では再生できません。画像を撮影した機器で再生してください。

HDV記録テープです　アフレコできません

- 本機ではHDV形式で記録された部分にアフレコすることはできません。

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。
付属のACアダプターは、全世界の電源（AC100V ～ 240V、50/60Hz）で使えます。また、バッテリーも充電できます。
ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米	主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要	

カラーテレビ方式について

テレビで再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC、下記参照）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）と接続ケーブルが必要です。

テレビ方式がNTSCの国、地域（五十音順）

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコ など

時差補正機能について

海外で使うとき、時間設定メニューの[時差補正]を選ぶと、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせられます（50ページ）。

ビデオカセットについて

本機はDV方式のビデオカメラレコーダーです。本機は、ミニDVカセットのみ使えます。
Mini DVマーク付きカセットを使ってください。
本機は、カセットメモリー非対応です。

無記録部分を作らないために

以下のときは、次の撮影の前にエンドサーチ（29ページ）を行って撮影終了位置に戻します。
- テープを再生したとき
- エディットサーチを使った場合

著作権保護信号について

■ 再生するとき

本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合には、他機をつないで本機の画像を記録するとき、記録が制限されることがあります。

■ 記録するとき

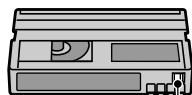
著作権保護のための信号が記録されている映像音声は本機で記録することはできません。このような映像音声を記録しようとすると、液晶画面に[コピープロテクトされています　記録できません]が表示されます。なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

取り扱い上のご注意

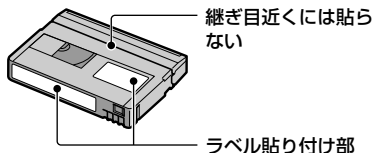
■ 長い間使わないときは

本機からカセットを取り出して保管してください。

■ 間違って消さないために

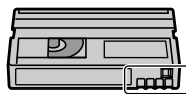
カセットの背にある誤消去防止ツマミをSAVEの矢印のほうへずらします。

REC：録画できる。
SAVE：録画できない。
（誤消去防止状態）

■ ラベルは指定の位置に

カセットにラベルは、指定の位置に正しく貼ってください。指定以外の位置に貼ると故障の原因になります。

■ カセットの使用後は

必ずテープを巻き戻してください（画像や音声が乱れる原因となります）。巻き戻したテープはケースに入れ、立てて保管してください。

■ 金メッキ端子のお手入れ

カセットの金メッキ端子が汚れたり、ゴミが付着したりすると、テープ残量表示などが正しく表示されないことがあります。
カセットの取り出し回数10回を目安にして、綿棒でカセットの金メッキ端子をクリーニングしてください。

“メモリースティック”について

“メモリースティック”（“Memory Stick”）は小さくて軽いのに、フロッピーディスクより大容量のIC記録メディアです。
本機は、標準の“メモリースティック”の約半分の大きさの“メモリースティック　デュオ”のみ使えます。ただし、すべての“メモリースティック　デュオ”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”の種類	記録/再生
メモリースティック	–
メモリースティック デュオ[*1]	○
マジックゲート メモリースティック	–
マジックゲート/高速データ転送 メモリースティック デュオ[*1]	○[*2*3]
マジックゲート メモリースティック デュオ[*1]	○[*3]
メモリースティック PRO	–
メモリースティック PRO　デュオ[*1]	○[*2*3]

[*1] 標準の約半分大のサイズです。

[*2] 高速データ転送に対応した“メモリースティック”です。転送速度はお使いになる機器により異なります。

[*3] “マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機ではマジックゲート機能を使ったデータは記録/再生できません。

- 静止画の圧縮形式：本機は、撮影した静止画データをJPEG（Joint Photographic Experts Group）方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「.JPG」です。
- 動画の圧縮形式：本機は、撮影した動画データをMPEG（Moving Picture Experts Group）方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「.MPG」です。
- 静止画の画像のデータファイル名：
  – 本機の画面表示：101-0001
  – パソコンの画面表示：DSC00001.JPG
- 動画の画像のデータファイル名：
  – 本機の画面表示：MOV00001
  – パソコンの画面表示：MOV00001.MPG
- パソコン（Windows OS/Mac OS）でフォーマット（初期化）した“メモリースティック”は、本機での動作を保証いたしません。
- お使いの“メモリースティック”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。

誤消去防止スイッチ付き“メモリースティック　デュオ”では

先の細いものでスライドさせて、「LOCK」にすると、記録されているデータを誤って消去しないようにできます。
なお、本機に付属の“メモリースティック　デュオ”には誤消去防止スイッチは付いていません。

取り扱い上のご注意

以下の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。

- 画像ファイルを読み込み中や、“メモリースティック　デュオ”にデータを書き込み中（アクセスランプが点灯中および点滅中）に、“メモリースティック　デュオ”を取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
- 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合

大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。

■取り扱いについて

以下のことを守ってください。

- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “メモリースティック　デュオ”本体およびメモリースティック　デュオ　アダプターにラベルなどは貼らないでください。

次のページへつづく ➡

- 持ち運びや保管の際は、"メモリースティック　デュオ"に付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。
- "メモリースティック　デュオ"スロットには対応"メモリースティック　デュオ"以外は入れないでください。故障の原因となります。

■ 使用場所について

以下の場所での使用や保管は避けてください。

- 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

■ メモリースティック　デュオ　アダプター（付属)の使用について

"メモリースティック　デュオ"をメモリースティック　デュオ アダプターに挿入すると、標準の"メモリースティック"対応機器でもご使用になれます。

- "メモリースティック　デュオ"を"メモリースティック"対応機器でお使いの場合は、必ず"メモリースティック　デュオ"をメモリースティック　デュオ　アダプターに入れてからお使いください。
- "メモリースティック　デュオ"をメモリースティック　デュオ　アダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認の上、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。また、逆向きで無理に入れると、"メモリースティック　デュオ"スロットが破損し故障の原因となります。
- メモリースティック　デュオ　アダプターに"メモリースティック　デュオ"が装着されない状態で、"メモリースティック"対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

■ "メモリースティック　PRO　デュオ"についてのご注意

- 本機で動作確認されている"メモリースティック　PRO　デュオ"は512MBまでです。
- 本機はパラレルインターフェースを利用した高速データ通信には対応していません。

画像の互換性について

- 本機は(社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格"Design rule for Camera File systems"に対応しています。
- 統一規格に対応していない機器(DCR-TRV900、DSC-D700/D770)で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用した"メモリースティック　デュオ"が本機で使えないときは、42ページの手順にしたがい本機でフォーマット(初期化)をしてください。フォーマットすると"メモリースティック　デュオ"に記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
  – パソコンで加工した画像データ
  – 他機で撮影した画像データ

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は"インフォリチウム"バッテリー(Aシリーズ)のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。"インフォリチウム"バッテリー Aシリーズには InfoLITHIUM A SERIES マークがついています。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは?

"インフォリチウム"バッテリーは、本機や別売りのACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
"インフォリチウム"バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10~30℃の範囲で、充電ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、以下のことをおすすめします。
  – バッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
- 液晶画面の使用や再生/早送り/巻き戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。
- 本機で撮影や再生中は、こまめに電源スイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2~3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約5~10分でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告するマークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、基本設定メニューで[自動電源オフ]を[なし]に設定し、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください(49ページ)。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

i.LINK(アイリンク)について

本機のDV端子はi.LINKに準拠したDV端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは?

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

- i.LINKケーブルで本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるDV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- i.LINK(アイリンク)はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
- IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

S100(最大転送速度　約100Mbps*)
S200(最大転送速度　約200Mbps)
S400(最大転送速度　約400Mbps)

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。

最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは?
「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

他のDV端子付きビデオとつないでダビングする方法については53ページをご覧ください。
また、本機はビデオ機器以外のソニー製i.LINK(DV端子)対応機器(パーソナルコンピューター VAIOシリーズなど)とも接続してご使用になれます。
なお、デジタルテレビ、DVD、MICROMV、HDVなどの映像機器には、i.LINK端子を搭載しながらも、DV機器とは対応できない仕様のものがあります。接続の際はあらかじめDV対応の有無をご確認ください。
接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトの有無などについては、接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニー製i.LINKケーブルを使ってください。
4ピン↔4ピン(DVダビング時)

取り扱い上のご注意とお手入れ

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温や低温になる場所
  炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
  故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
  正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
  雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やレンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）
  液晶画面を傷めます。

■ 長時間使用しないときは

- 3分間ほど再生するなどして、ときどき電源を入れてください。
- バッテリーは使い切ってから、保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、[💧⏏結露しています カセットを取り出してください]または[💧結露しています 約1時間放置してください]と警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

■ 結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。
警告表示が出ている間は、⏏開く/カセット取出しつまみ以外は働きません。
電源を切ってカセットカバーを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても💧や⏏が点滅しなければ使えます。
結露気味のときは、本機が結露を検出できないことがあります。このようなときは、カセットカバーを開けてから約10秒間カセットが出てこないことがありますが、故障ではありません。
カセットが出てくるまでカセットカバーを閉めないでください。

■ 結露が起こりやすいのは

以下のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立の後
- 温泉など高温多湿の場所

■ 結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

次のページへつづく ➡

ビデオヘッドについて

- ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったり、音声が途切れたりします。
- 以下のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットDVM-12CLDを10秒間使ってヘッドをきれいにしておきましょう。
  – 再生画面に次のような四角いノイズが出る、または青1色の画面になる。

  – 再生画面の一部が動かない。
  – 再生画像が出ない、または音声が途切れる。
  – 録画中に[⊗📼ヘッドが汚れていますクリーニングカセットを使ってください]が表示される。
  – 再生中に「⊗📼 ヘッドが汚れているか、正常に録画できていません。クリーニングカセットのご使用をおすすめします」が表示される。
- ビデオヘッドは長時間使うと摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

液晶画面について

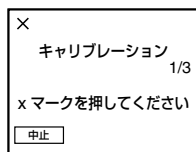
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

■ お手入れ

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などで拭いてください。別売りの液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングリキッドを直接液晶画面にかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

■ 画面調節(キャリブレーション)について

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。
このような症状になったときは、以下の操作を行ってください。電源は付属のACアダプターを使って、コンセントから取ってください。

① 電源スイッチを「見る/編集」にする。
② 本機からACアダプター以外のケーブル類やハンディカムステーションを外し、カセットと“メモリースティック　デュオ”を取り出す。
③ P.メニュー→[メニュー]→基本設定→[キャリブレーション]→ OK をタッチ。

④ “メモリースティック　デュオ”の角を使って、画面に表示される×マークを押す。
×マークの位置は変わります。
解除するには[中止]をタッチ。

正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。

- 液晶画面を外側に向けたときは、キャリブレーションできません。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
  - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤のような化学薬品類
  - 上記が手に付いたまま本機を扱う。
  - ゴムやビニール製品との長時間接触

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良いゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。また本機を良好な状態で長期にわたって使っていただくためにも、月に1回程度、本機の電源を入れて操作することをおすすめします。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し、2か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

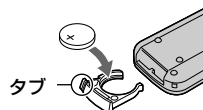
■ 充電方法

本機を付属のACアダプター、ハンディカムステーションを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切(充電)」にして24時間以上放置する。

リモコンの電池を交換するには

① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引出す。

② +面を上にして新しい電池を入れる。

③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。

- リモコンには、ボタン型リチウム電池(CR2025)が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

主な仕様

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン
静止画記録方式	Exif Ver.2.2*
録音方式	回転2ヘッド 12ビット32kHz (ステレオ1、ステレオ2) 16ビット48kHz(ステレオ)
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	Mini DVマークのついたミニDVカセット
テープ速度	SP:約18.81mm/秒 LP:約12.56mm/秒
録画/再生時間	SP:60分(DVM60使用時) LP:90分(DVM60使用時)
早送り、巻き戻し時間	バッテリー使用時: 約2分40秒(DVM60使用時) ACアダプター使用時: 約1分45秒(DVM60使用時)
撮像素子	3mm(1/6型)CCD固体撮像素子 総画素数:約68万画素 静止画時有効画素数:約34万画素 動画時有効画素数:約34万画素
ズームレンズ	カール ツァイス バリオテッサー 10倍(光学)、120倍(デジタル) f=2.3 〜 23mm 35mmカメラ換算では 44 〜 440mm F1.7 〜 2.2
色温度切り換え	[オート]、[ワンプッシュ]、 [屋内](3 200K)、 [屋外](5 800K)
最低被写体照度	11 lx(ルクス)(F1.7)

* (社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画用のファイルフォーマット。

入/出力端子

A/V端子	10ピン特殊コネクター 入力/出力自動切り換え 映像:1 Vp-p、75 Ω不平衡 Y出力　1Vp-p、75Ω不平衡 C出力　0.286Vp-p、75Ω不平衡 音声:327mV(47 kΩ負荷時)、入力インピーダンス47 kΩ以上、出力インピーダンス2.2 kΩ以下

液晶画面

画面サイズ	7.4cm(3.0型)
総ドット数	123 200ドット 横560×縦220

電源部、その他

電源電圧	バッテリー端子入力7.2V DC端子入力8.4V
消費電力	2.9W(明るさ標準)
動作温度	0℃〜 +40℃
保存温度	−20℃〜 +60℃
外形寸法	約45×99×72mm (最大突起部を除く)(幅×高さ×奥行き)
本体質量	約290g(本体のみ)
撮影時総質量	約360g(バッテリー NP-FA50、テープ(DVM60)含む。)
付属品	7ページをご覧ください。

ハンディカムステーション DCRA-C131

A/V端子	10ピン特殊コネクター 入力/出力自動切り換え 映像：1 Vp-p　75 Ω不平衡 Y出力　1Vp-p　75Ω不平衡 C出力　0.286Vp-p　75Ω不平衡 音声：327mV（47 kΩ負荷時）、入力インピーダンス47 kΩ以上、出力インピーダンス2.2 kΩ以下
USB端子	mini-B
DV端子	i.LINK（IEEE1394 4ピンコネクター S100）

ACアダプター　AC-L200

電源	AC100 ～ 240V、50/60Hz
消費電力	18W
定格出力	DC8.4V*
動作温度	0℃～ +40℃
保存温度	－20℃～ +60℃
外形寸法	約48×29×81mm （最大突起部をのぞく）（幅×高さ×奥行き）
質量	約170g（本体のみ）

* その他の仕様についてはACアダプターのラベルをご覧ください。

リチャージャブルバッテリーパック NP-FA50

最大電圧	DC8.4V
公称電圧	DC7.2V
容量	4.9wh（680mAh）
最大外形寸法	約47.2×6.8×75.5mm （幅×高さ×奥行き）
質量	約50g
使用温度	0℃～ +40℃
使用電池	Li-ion

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

次のページへつづく ➡

マ行

ラ行

ワ行

アルファベット順

商標について

- “Memory Stick”、“メモリースティック”、“MEMORY STICK TM”、“メモリースティック　デュオ”、“MEMORY STICK DUO”、“メモリースティック PRO　デュオ”、“MEMORY STICK PRO DUO”、“マジックゲート”、”MAGICGATE”、“MagicGate Memory Stick”、“マジックゲート　メモリースティック”、“MagicGate Memory Stick Duo”、“マジックゲート　メモリースティック　デュオ”はソニー株式会社の商標または商標登録です。
- InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。
- i.LINK、i.はソニー株式会社の商標です。
- Picture Packageはソニー株式会社の商標です。
- Mini DV Digital Video Cassetteは商標です。
- Microsoft、Windows、Windows MediaはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iMac、iBook、Macintosh、Mac OS、PowerBook、PowerMacはApple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- eMacはApple Computer, Inc.の商標です。
- QuickTimeおよびQuickTimeロゴはAppleComputer, Inc.の商標です。
- Roxioは、Roxio, Inc.の登録商標です。
- Toastは、Roxio, Inc.の商標です。
- Windows Media Playerは、Microsoft Corporationの商標です。
- MacromediaおよびMacromedia Flash PlayerはMacromedia, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。